



神奈川県  
川崎図書館

令和2年度

# 要覧

---



ものづくり情報ライブラリー

神奈川県立川崎図書館

## 基 本 理 念

神奈川県立の図書館は

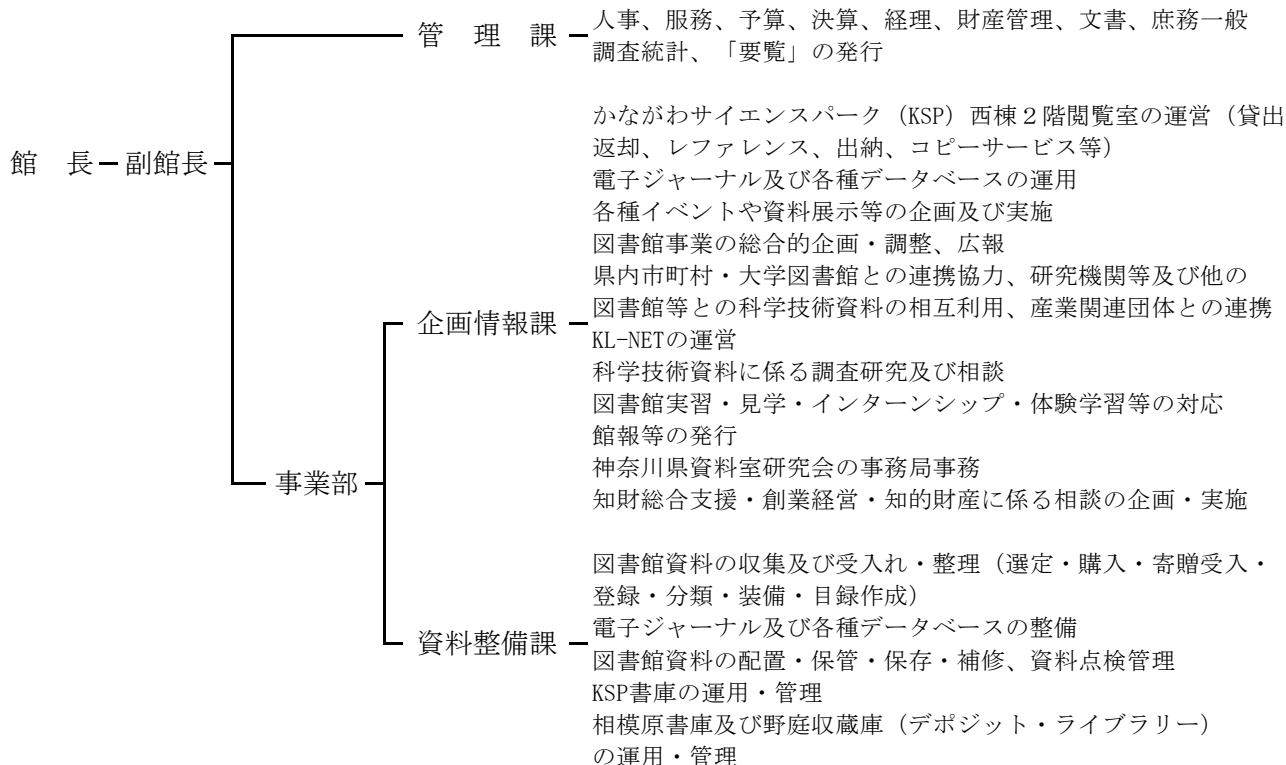
「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、  
神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与します。

# 目 次

1 組 織	1
2 沿 革	2
3 施設の概要	4
4 令和2年度 県立川崎図書館の取組み	6
5 令和2年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画	10
6 予算・決算	11
7 令和元年度 事業の概況	12
8 令和元年度 講座等実施状況	25
9 令和元年度 県立川崎図書館の活動評価	33
事 業 統 計（令和元年度）	
第 1 表 部門別蔵書冊数	38
第 2 表 逐次刊行物保有状況	38
第 3 表 電子ジャーナル等資料の保有状況	38
第 4 表 開館日数・入館者数	39
第 5 表 レファレンス件数	39
第 6 表 書庫内資料の利用数	40
第 7 表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数	41
第 8 表 個人貸出登録者数	42
第 9 表 個人貸出冊数	42
第 10 表 リクエストサービス	42
第 11 表 複写サービス	43
第 12 表 講習会・講座・講演会等	43
第 13 表 知的財産関連相談件数	44
第 14 表 視聴覚資料の貸出状況	45
第 15 表 他の図書館等への貸出状況	45
第 16 表 年度別蔵書冊数	46
第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数	46
館 内 案 内 図	47

# 1 組織 (令和2年4月1日現在)

## (1) 組織図



## (2) 職員の構成

区分	館長	副館長	部長	課長	副主幹	主査	主任司書	主事	司書	小計	臨時司書	任用職員	会計年度	合計	備考
館長・副館長	1	1								2				2	
管理課				*	1	1		2		4		1		5	*副館長が管理課長職を兼務
事業部	企画情報課		1	1	1		2		2	7	3	12		22	部長を含む
	資料整備課			1	1		1			3	2	6		11	
部計			1	2	2	0	3	0	2	10	5	18		33	
合計	1	1	1	2	3	1	3	2	2	16	5	19		40	
司書有資格者数			1	2	2		3		2	10	5	18		33	

## 2 沿革

昭和	33	年	11	月	1	日	神奈川県立図書館条例（昭和33年条例第32号）をもって設置
			同				神奈川県立図書館組織規則（昭和29年教委規則第8号）改正により2課3係制
			同	12	月	20	落成開館式を挙行
昭和	34	年	1	月	12	日	開館し、館内閲覧業務を開始
			同	3	月	20	附属機関の設置に関する条例（昭和28年条例第5号）に基づき、神奈川県立川崎図書館協議会を設置
			同	5	月	15	商工資料室開室、工業所有権公報類の公開閲覧業務を開始
昭和	35	年	1	月	13	日	社会人に図書の館外個人貸出しを開始
			同	4	月	20	小中学生を対象に図書の館外個人貸出しを開始
			同	7	月	1	図書資料の複写サービスを開始
昭和	36	年	4	月	16	日	視聴覚資料の貸出し、また図書の工場等団体並びに大学生の館外個人貸出しを開始
昭和	39	年	5	月	1	日	自動車による工場巡回文庫を設け、工場、事業所の従業員に対し、配本を開始
昭和	40	年	9	月	1	日	高校生に図書の館外個人貸出しを開始
昭和	42	年	1	月	16	日	書庫を増築、川崎市から取得
昭和	44	年	7	月	16	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2課4係制
昭和	45	年	8	月	18	日	移動図書館車による青雲文庫を設け、工場、事業所の寮に住む勤労青少年に対し、配本を開始
昭和	46	年	2	月	25	日	特許庁により公開公報閲覧所に指定
			同	6	月	2	神奈川県立図書館組織規則改正により3課7係制
			同	7	月	1	理工学文庫を設け、他の公共図書館に対し、理工学関係図書の配本を開始
昭和	47	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則（昭和47年教委規則第13号）が施行され3部7課制
昭和	49	年	8	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により3部8課制
昭和	53	年	11	月	17	日	開館20周年記念「図書館まつり」開催（19日まで）
昭和	55	年	4	月	1	日	図書館協力車事業本格運行を開始
昭和	57	年	12	月	16	日	1階改修工事により障害者施設の整備と科学技術資料室の充実等を実施
昭和	58	年	4	月	1	日	神奈川県科学技術文献相互利用を開始
昭和	59	年	3	月	31	日	工場巡回自動車文庫（工場巡回文庫、青雲文庫）を廃止
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則（昭和59年教委規則第4号）が施行され3部8課制
			同	12	月	1	国立国会図書館データベースオンラインによる検索サービス業務開始
昭和	60	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例改正により、県立川崎図書館協議会と県立図書館協議会とが統合され、神奈川県図書館協議会を設置。ファクシミリサービスを開始
			同	9	月	19	改修工事（空気調和設備全面更新、その他改修）のため休館
昭和	61	年	4	月	19	日	改修工事完了のため開館（60年9月27日～61年3月23日仮設図書館開設）
平成	元	年	2	月	15	日	開館30周年記念式典を挙行
平成	2	年	4	月	24	日	県立図書館において神奈川県立図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）一部稼働
平成	3	年	4	月	16	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）全面稼働
平成	4	年	3	月	31	日	団体貸出しを廃止
平成	5	年	1	月	21	日	特許検索用CD-ROMを導入
			同	3	月	31	理工学文庫を廃止
平成	8	年	9	月	17	日	特許庁の特許公報類閲覧所の指定が解除され、知的所有権センター支部として認定
平成	10	年	1	月	7	日	リニューアル工事のため、全館休館（4月15日まで）
			同	4	月	1	神奈川県立図書館組織規則改正により、3部7課制。リニューアルオープン
平成	12	年	3	月	1	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
平成	13	年	4	月	1	日	附属機関の設置に関する条例の一部改正により、神奈川県図書館協議会を廃止し、それに代わる意見聴取のための図書館アドバイザー会議を設置。祝日開館を開始
			同	6	月	5	ITコーナー（インターネット一般公開）開設
平成	14	年	4	月	1	日	図書館アドバイザー会議を廃止し図書館アドバイザーレクチャー制度の導入
平成	16	年	4	月	15	日	生涯学習文化財課収蔵センターに科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリーを開設
平成	17	年	4	月	15	日	神奈川県図書館情報ネットワーク・システム（KL-NET）を更新
			同	10	月	1	ビジネス支援室（1階）を開設

平成	18	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により2部6課制
							やさしい科学コーナー・おすすめ本コーナー（1階）、化学文献室（地下1階）を開設
							生態学コーナー（1階）を開設
平成	19	年	10	月	12	日	ビジネス情報クイックコーナー（1階）を開設
平成	20	年	9	月	12	日	サイエンス・ナウ（Science Now!）コーナー開設
							開館50周年記念式典を挙げる
平成	21	年	3	月	31	日	生態学コーナー（1階）を廃止
平成	22	年	4	月	1	日	神奈川県立図書館組織規則改正により1部4課制
平成	24	年	3	月	31	日	知的所有権センター認定要領廃止（名称は継続使用）
							ビジネス情報クイックコーナー（1階）を廃止
平成	26	年	6	月	25	日	「社史フェア2014」を初開催（27日まで）
平成	27	年	9	月	11	日	社史コレクションがテレビ番組「タモリ倶楽部」（テレビ朝日系列）で放映
平成	29	年	10	月	1	日	かながわサイエンスパーク（KSP、川崎市高津区坂戸3-2-1）への移転準備のため一部休館（1階ビジネス支援室の供用休止、貸出・予約・リクエスト等休止）
							入館者数1,000万人を達成
							KSPへの移転準備のため平成30年5月14日まで全面休館
平成	30	年	4	月	1	日	KSPに移転
							神奈川県立図書館組織規則改正により1部3課制
							移転再開館記念式典を挙げる
							「ものづくり情報ライブラリー」として再開館
							公共図書館として初めて、海外の電子ジャーナル・データベース（IEEE、Scopus）を導入
令和	元	年	11	月	21	日	開館60周年記念講演会を開催
令和	2	年	3	月	4	日	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため一部サービス（閲覧室の利用、資料の閲覧等の利用）の休止

### 3 施設の概要

#### (1) 建物

名 称	使用開始年月日	延床面積	所 在 地
かながわサイエンスパーク 西棟	平成29年10月1日	1,308.000㎡	川崎市高津区坂戸3丁目2番1号 かながわサイエンスパーク (KSP)
かながわサイエンスパーク R&D棟	平成29年10月1日	1,182.710㎡	同上
相模原書庫	平成30年2月1日	130.305㎡	相模原市南区当麻2650-22
野庭収蔵庫	平成15年4月1日	1,491.840㎡	横浜市港南区野庭町1660
合 計	—	4,112.855㎡	—

#### (2) 建物の内訳

ア かながわサイエンスパーク (KSP)

(ア) 西棟 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造

(イ) R&D棟 同上

イ 相模原書庫 鉄筋コンクリート造

ウ 野庭収蔵庫 同上

#### (3) 西棟

ア 施設 2階 閲覧室、ディスカッションルーム、知財スポット  
カンファレンスルーム、コンサルティングルーム  
合計座席数140席

イ 収蔵資料 (令和2年4月1日現在)

図 書 約65,000冊  
雑 誌 (専門雑誌最新号) 約1,000タイトル

#### (4) R&D棟

ア 施設 2階 事務室、書庫A、書庫B

イ 収蔵資料 (令和2年4月1日現在)

図 書 約29,000冊  
雑 誌 (上記(3)イの雑誌タイトル数を含む) 洋 394タイトル  
和 5,582タイトル

#### (5) 相模原書庫(外部書庫)

ア 施設 4階 アーカイブセンター内

イ 収蔵資料 (令和2年4月1日現在)

図 書 約125,000冊

(6) 野庭収蔵庫(デポジット・ライブラリー)

ア 施設	北棟3階	事務室 書架(雑誌)
	北棟4階	書庫(図書・雑誌)
	南棟4階	書庫(雑誌)
	計22室	

イ 収蔵資料(令和2年4月1日現在)

図 書	約41,000冊
雑 誌	洋 1,794タイトル
	和 281タイトル



## 4 令和2年度 県立川崎図書館の取組み

### (1) 県立の図書館の基本理念

神奈川県立の図書館は、「知」を集積し、新たな「知」を育む「価値創造」の場として、神奈川の文化と産業の発展、社会づくりに寄与する。

### (2) 基本方針（平成30（2018）年度～令和3（2021）年度）

「ものづくり技術」を支える機能に特化した専門的図書館として利用者のニーズに応えるとともに、SDGsの理念をふまえ、人生100歳時代に向け、県民一人ひとりの生涯にわたる「学び」や社会参加等を支援することを目的とし、次の基本方針を定める。

- ア 県立図書館との機能及びサービスの分担のもと、共に補完しあいながら県立の図書館として一体的な運用を行う。
- イ 科学技術の最新動向を踏まえて資料・情報を収集・保存・提供し、県民に役立つ図書館サービスを展開して有用な「知の拠点」を築き、「調査研究活動」を支援する図書館サービスを展開して「価値創造」に結びつける。
- ウ 「ものづくり技術」の高度化や、技術開発のバックアップという県民のニーズに応えるため、ものづくり技術関連資料の収集を一層強化し、電子ジャーナルによる最先端の情報から専門書、知的財産・規格資料まで、「ものづくり技術」を「学び、活かし、拓く」資料等の収集、提供を積極的に行なう。
- エ 県内産業関係団体、県内産業技術教育機関、県内試験研究機関、市町村図書館・大学図書館・高校図書館と密接な連携を図って、知的財産等に係る支援、相互の周知啓発活動、資料の相互貸借や図書館職員の人材育成などに努め、県域全体を支える図書館としての機能を充実させる。
- オ 所蔵資料を活用した館内展示や各種講演会、講座、子ども実験教室、ものづくり支援相談などを企画・開催し、県立の図書館ホームページを始めとする様々なメディアを活用した発信に努め、人々の知的好奇心に応える多彩で魅力的な「知の機会」を提供する。
- カ 生涯を通じた「学び」と研究を可能にするために必要な資料、情報を、適切かつ快適な環境で提供するとともに、利用者がICT（情報通信技術）を活用できるよう、機会をとらえ県民の情報リテラシー向上を支援する。  
また、「知の機会の提供」に加えて「研究成果の活用」の支援拠点としての機能を果たすことに力を注ぎ、人生100歳時代の「人づくり・社会づくり」に寄与する。
- キ 図書館利用に障がいのある方々に配慮し、図書館の設備、資料、情報をより利用しやすくなるよう、個々の状況に応じ、工夫してサービスの提供を進める。
- ク 図書館活動について常に「P<計画>→D<実施>→C<点検（評価）>→A<見直し>」のサイクルで業務の見直しを図り、図書館経営の持続的な改善を行う。また、県民からの意見・要望を真摯に受け止め、「開かれた図書館」としての運営を行う。

### (3) 令和2年度 重点的取組み

#### ア 「新しい生活様式」における円滑な図書館運営の実現

来館者がコロナウイルス感染症に感染しないよう万全な対策を講じながら、基本方針に基づき、県立川崎図書館の魅力や役割等を実現するためサービスを円滑に提供できるように努める。

#### イ 県内産業団体等との連携の強化

「ものづくり技術」の支援を促進していくため、県内産業団体・企業や産業技術の教育機関等との連携の強化に努める。

#### ウ 電子ジャーナル等の利用の促進

公共図書館で全国に先駆けて導入した電子ジャーナルや外部データベース等の電子情報の有用性の周知に努め、講演会や出前講習会などを実施し、利用促進を図る。

#### エ 特許・規格・社史の収集強化

「ものづくり技術」を支える資料としての特許・規格を含む科学技術資料群を充実するとともに、全国有数のコレクションである社史の収集・整備を進める。

#### オ 資料利活用のための保存機能の強化

貴重な収蔵資料を確実に将来に引き継ぐとともに、現在から将来にわたる利活用を保障するため、資料の保存対策を検討、実施する。

#### カ 行政支援サービス

神奈川の地域課題の解決や未来の社会づくりに貢献し、行政実務の遂行を支援するため、特に県内試験研究機関や高校図書館へ資料提供やレファレンスによる情報提供を行う。

#### キ レファレンスサービス

レファレンスツールとなる資料の集積や、職員による電子ジャーナル、オンライン外部データベースの活用を図る。併せて、様々な機会を利用して職員のレファレンス能力の向上に努める。また、サービスの内容やその成果についての広報を強化し、「国立国会図書館レファレンス協同データベース」への事例提供を引き続き進める。

#### ク 県民の「学び直し」を応援

人生100歳時代に向け、図書館が生涯を通じた「学び」と探求のきっかけづくりや県民の「学び直し」を支援するため、「大人の理科教室」などの講座を開催するとともに、「子ども科学実験室」などの「学び」の場の提供を行う。

#### ケ 図書館利用に障がいを持つ人々へのサービス

全ての人々が、利用しやすい施設であるように、館内の案内サイン、外国語の利用案内などの整備に努めるとともに、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の基本的な考え方にに基づきサービスの向上を目指す。

#### コ 図書館専門職員の人材育成

県域全体で質の高い図書館サービスを提供するため、市町村立図書館、県立学校図書館、専門図書館等の職員の能力開発や人材育成支援について、関係機関との連携の下に積極的に取り組むとともに、経験者選考で採用された職員のノウハウも業務運営に反映するよう努めていく。

#### サ 各事業の着実な実施及び広報・情報発信の強化

新たな利用者層を掘り起こすためのPRメディアとして、ポスター、チラシ、ホームページ等を活用する。また、自館作成の刊行物や県の広報媒体など、各種のメディアを使って情報発信

に努める。

#### (4) 図書館活動の数値目標

令和2年度は、次の数値目標を達成することを目指す。

##### ア 社会教育施設評価書の全館共通評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
利用状況	① 利用者満足度	98%	利用者にアンケートを行い、満足度を調査
	② 入館者	90,000人	年間入館者数
	③ 教育・普及事業への参加者	1,400人	研修、講座や知財相談等の参加者数
	④ インターネットアクセス	4,200,000件	ホームページのアクセス件数
資料・収蔵品	⑤ 活用	1,000点	展示または各種メディア等で紹介した資料点数
	⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	書き込み、切り取りや汚破損など資料の棄損件数を減少させる(記述項目)。
調査研究	⑦ 研究成果の公開	40件	職員の日ごろの研究活動及び研究成果に関する文献等の執筆件数、研修会及び研究集会での発表件数
情報発信	⑧ 事業情報の発信	270件	定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数
施設運営等	⑨ 観覧料及び事業等収入(図書館は除く)	—	—
	⑩ 施設点検	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	だれもが等しく利用できる図書館を目指す(記述項目)。
	⑪ 自己研鑽及び他館の研究	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなどの専門的能力の向上	スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数(記述項目)

イ 川崎図書館の個別評価項目

	評価項目	1年間の目標値	備考
資料収集 ・整備	① 社史等の収集	540 件	社史と逐次刊行物の新規寄贈数
	② 破損等資料の修理 件数	100%	書き込み、切り取りや汚破損などを発見 した資料のうち修理したものの割合
資料・情 報の提供	③ レファレンスサー ビス	4,100 件	カウンターでの口頭、電話、メール・文 書によるレファレンス件数（県機関、県 立学校等を含む。）
	④ 貸出数	27,000 件	個人利用者への貸出冊数
	⑤ 書庫内資料利用数	30,000 件	書庫の資料を提供した件数
	⑥ 複写枚数	109,000 枚	コイン式コピー、電子ジャーナル等のプ リントアウト、郵送複写等
	⑦-1 電子ジャーナル等 の利用人数 (利用申込み延べ 人数)	1,900 人	電子ジャーナルや外部データベース等の 電子情報の利用申込み延べ人数
	⑦-2 電子ジャーナル等 の利用件数 (IEEE、Scopus 文献閲覧件数)	7,500 件	電子ジャーナルや外部データベース等の 電子情報の文献閲覧件数
連携・ 協力事業	⑧ 行政支援サービス	500 件	県機関、県試験研究機関や高校図書館等 への資料提供冊数
	⑨ 県内市町村図書館 等への貸出冊数	6,200 冊	県内市町村図書館等への資料提供冊数
	⑩ 県外図書館等への 貸出冊数	170 冊	県外図書館等への資料提供冊数
広報・ 普及活動	⑪ テーマによる資料 展示回数	40 回	テーマによる資料展示を行った回数
	⑫ 視察・見学会等実 施件数	60 件	視察や見学会、職業体験、インターンシ ップを受け入れた件数
	⑬ 各団体・機関への 広報実施件数	50 件	産業団体や外部機関等へ出向くなど、川 崎図書館を広報した、あるいは該当団 体・機関の持つ広報手段を活用した広報 件数
図書館運 営の条件 整備	⑭ 自己研鑽及び他館 の研究	300 人	スキルアップに寄与する内部・外部の研 修や講座の参加者延人数

# 5 令和2年度 県立川崎図書館事業体系図及び事業計画

生涯学習 機会の 提供	(1) 資料収集・整備	ア 資料・情報の収集	(ア) 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物(雑誌、年鑑・年報、論文集等)の収集	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の最新の知見が書かれた専門図書、基本概説書、事典等の参考図書を収集する。逐次刊行物においては、信頼性の高い最新情報や研究論文を収録する学会誌、協会誌、講演論文集等を収集する。官公庁発行の報告書、企業技報、理工系大学の紀要等を収集する。
		イ 資料・情報の整備	(イ) 特許関連資料、規格資料等の収集	特許公報関係の解説書及び活用事例に関する図書類、国内外の規格類及び解説書を収集する。
			(ウ) 会社史、経済団体史等の収集	会社史・経済団体史を、寄贈等により積極的に収集し、社史コレクションの充実に努める。
			(エ) 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集	会社・事業所の研修用として、産業安全・労働衛生に関するビデオ・DVDを収集する。
			(ア) 資料の整理、点検、修理、製本	資料点検、修理製本等を行い、常に適正な状態で資料を利用提供できるよう管理する。
	ウ 書庫・収蔵庫の運用	(イ) 資料データの整備	当館の所蔵データベースのKL-NETに加え、CiNi Booksへのデータ登録や各種目録類を整備・公開し、多様な検索手段を提供する。	
		(ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備	県立図書館と共同して、神奈川県に関する新聞記事・雑誌論文等を収集し、その索引データをKL-NETに入力して、県民が地域情報を迅速かつ広範に検索・入手できる環境を整える。	
		(ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理	随時書庫入れ作業などを行い、効率的でわかりやすい書架を維持するように努める。KSP書庫(主に雑誌)及び相模原書庫(図書)に保管する資料について、適切な維持管理を行う。	
		(イ) 野庭収蔵庫(科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー)の運用・管理	神奈川県資料室研究会加盟企業等から寄贈された科学技術系外国語雑誌を、横浜市内の野庭収蔵庫に保管し、データを公開して、利用に供する。	
		(ア) レファレンスサービス	ものづくり技術分野に関する科学技術資料及び会社史資料に関する様々な質問について、迅速かつ的確な対応を行う。特に、規格や特許については当館独自の分野であるので、市町村職員対象の研修会やレファレンス協同データベースへの登録で、当館のノウハウの伝達にも努める。	
	(2) 資料・情報の提供	イ 基本的サービス	(イ) 閲覧、登録、貸出(視聴覚資料含む)、リクエストサービス	2つのカウンターに司書職員を配置し、的確な利用者サービスを実施する。研究者や技術者、ビジネスユースの利用者のために、雑誌のバックナンバー等の大量出納にも応じ、効率的な調査研究を支援する。産業安全・労働衛生ビデオ・DVDは団体貸出を行う。
			(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス	館内で図書や雑誌の文献複写ができるようコピー機を設置している。郵送による文献の複写や自宅での図書の受け取り等、開館時間内に来館できない県民にも広くサービスを行う。
			(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス	最先端科学情報へのアクセスができるIEEE Xplore(電気工学等を主とした団体発行の雑誌、会議録)、Scopus(世界最大級の抄録、引用文献データベース)等を提供するとともに、基本情報を入手する手段であるJDreamIII・CiNi(科学技術に関する論文検索)、日経テレコン・官報情報検索サービス(新聞記事検索)、JP-NET・J-PlatPat・Innovation Q+(特許検索)、Brand Mark Serach(商標検索)も提供する。
			(オ) Wi-Fi利用サービス	Wi-Fiを導入し、利用者が所有する端末からインターネット接続ができるようにしている。
			(カ) 障がい者サービス	全ての人々が図書館において必要な情報が入手できるように、拡大読書器の提供や筆談対応、図書の郵送貸出しサービスを行う。
	イ 特色あるサービス	(ア) ものづくり情報の提供	ものづくり技術に関する工学、産業技術、自然科学分野の専門的な図書・雑誌を提供し、科学技術情報の普及に努める。	
		(イ) 知財関係情報等の提供	特許関係の図書・雑誌を提供する。専門家による相談事業を行い、「知財スポット」を活用した知財情報の普及に努める。	
		(ウ) 社史情報の提供	約20,000冊の会社史を所蔵している。社史関連講演会や社史フェアの開催、社史の魅力の広報等多面的なサービスを展開する。	
		(エ) ものづくり入門資料等の提供	ものづくり技術に関する入門的な資料を「ものづくり入門コーナー」に集約して提供し、一般の利用者のものづくり技術への理解や関心を促進する。	
		(ア) 図書館情報ネットワークの推進	県立図書館と協力して、KL-NETを通じた県内市町村立図書館の資料の相互利用を図り、県民サービス向上につなげる。	
	(3) 連携・協力事業	ア 連携・協力	(イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進	都道府県立図書館等との相互利用を推進し、利用者の利便性の向上を図る。
			(ウ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進	県立高校の図書館や県内の大学図書館などへ資料を提供するなど、教育現場における学習や調査研究のための連携、協力を推進する。また、電子ジャーナルの利用促進のために、大学等への周知・広報を行う。
			(エ) 行政支援の推進	各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービス等を行い、県職員の業務遂行、研究活動を支援する。
			(ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整	神奈川県資料室研究会は、県内企業、大学、研究機関のライブラリーや知財部門で構成されている館種を超えたネットワークであり、例会の開催や、ニュースと年報の発行をサポートする。
			(イ) 知財関係団体等との連携	知的財産の創造、保護及び活用を推進するとともに、中小企業等の知的財産戦略策定の支援をするために、県内知的財産関係機関が相互に連携を強化する。弁理士会との連携により、相談、交流、セミナー事業を行う。また、技術士会、中小企業診断士会等との連携に取り組む。
(4) 広報・普及活動	ア 広報活動	(ア) 展示等の実施	当館所蔵資料と自作パネルや他からの借用物と組み合わせ、「ものづくりギャラリー」や協力機関等での展示を開催する。時宜に合うテーマを選び、当館の魅力発信の場として実施する。館外でのPRにも努める。	
		(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応	図書館を身近に感じ、理解を深める手段として、大学生インターンシップや司書資格習得のための図書館実習を受け入れ、将来の人材育成に貢献する。また、高校生・中学生の職業体験や見学希望を受け入れる。	
		(ウ) ホームページの運営	展示や講演会などのイベントの案内や報告、図書館での出来事など、有益な広報の手段としてホームページを活用する。「司書の出番(ブログ風の記事)」「クリッピング!(写真で見る図書館)」など、生き生きとした情報発信に心がける。	
		(ア) 展示関連イベントの開催	展示を当館の広報の中心と位置づけ、展示に合わせて講演会等も開催し、重層的な「知」の機会を提供する。	
		(イ) ものづくりカフェの開催	平成18年度から開催を続け、気軽に科学技術の専門家と語り合える場として人気のイベントであるサイエンスカフェを引き継ぎ、ものづくりカフェとして開催していく。	
(5) 図書館運営の条件整備	イ 講座等開催事業	(ウ) 各種イベントの開催	資料の調べ方講座、図書館ガイダンス、子ども科学実験室、大人の理科教室等魅力的なイベントを開催していく。	
		(ア) 館報「ものづくり文化」の発行	当館の館報「ものづくり文化」を刊行する。来館者、県内公共・大学図書館や全国の都道府県立図書館等に配布する。	
		(イ) 定期刊行物	社史情報紙「社楽」を発行している。また、当館の事業等の報告をまとめた「要覧」を発行している。	
		(ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営	両図書館の長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画、実施しているが、両館共通のテーマ設定、ふさわしい講師の選定などに協力し、職員の研修機会としても機能させる。	
		(イ) 活動評価の実施、公表	図書館活動について「計画→実施→評価→見直し」の持続的な運営改善を図ることを目的として活動評価を行い、その結果を公表する。社会教育施設評価書の全館共通評価項目及び当館の個別評価項目の2体系で活動評価を行う。	
ウ 刊行物の発行	ア 運営状況の点検・評価	(ウ) 利用調査の実施	図書館の利用実態を把握するために、県立図書館と共同して来館者対象にアンケート調査を実施し、その結果を分析して、今後のサービスに活かす。	
		(エ) 職員の研修	館内整理日を活用して、司書職員の資質向上のための研修機会を設ける。県図書館協会の研修をはじめ、各種研修に積極的に参加し、その成果を共有して、全職員のレベルアップにつなげ、利用者の満足度向上を図る。	
		(オ) 職員の研究と発信	情報の専門職として司書職員のスキルアップの活動を支援し、研修講師、図書館の紀要や学会誌への論文の投稿や、研究成果の発表・発信に結実させ、川崎図書館職員全体の能力向上を図る。	
		(ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備	図書館として必要な施設の維持管理を行い、施設設備等の不具合が生じた際には適宜原状復帰を図るとともに、利用者に快適な施設環境を提供し、利用促進のための諸施設の整備を行う。県立川崎図書館の業務の運用に係る効率的な経費の執行を行う。	
		(イ) 環境マネジメントシステムの推進	環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守し、継続的に改善しながら環境への配慮を行う。	
ウ 新たな図書館像等の検討	ア 魅力ある新たな図書館像等の検討	(ア) 魅力ある新たな図書館像等の検討	県立図書館等と連携し、魅力ある新たな県立の図書館像及び資料利活用のための保存機能強化の検討を進める。	

## 6 予算・決算

### (ア) 令和2年度当初予算

(単位：円)

事業名	細事業名	予算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	205,917,000	賃借料、共益費 146,423,000	
	財源内訳	雑入	1,000,000	複写サービス
		立替収入	20,000	複写機電気料金立替収入
		一般財源	204,897,000	
	図書館事業費	20,299,000	高度先端技術情報・専門資料の提供 18,149,000 講演会等の実施・連携 2,150,000	
	財源内訳	雑入	58,000	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	20,241,000	
	整備事業費	138,956,000	旧図書館除却工事費(繰越分) 136,294,000 旧図書館除却工事関連費 2,662,000	
	財源内訳	一般財源	138,956,000	
	計		365,172,000	
	財源内訳	雑入	1,058,000	
		立替収入	20,000	
		一般財源	364,094,000	

### (イ) 令和元年度決算見込

(単位：円)

事業名	細事業名	決算額	説明	
川崎図書館費	維持運営費	13,546,636		
	財源内訳	雑入	327,850	複写サービス等
		立替収入	16,648	複写機電気料金立替収入
		一般財源	13,202,138	
	図書館事業費	19,672,253	資料・情報整備費 15,460,480 産業資料充実費 1,156,325 講演会及び調査相談事業費 3,055,448	
	財源内訳	雑入	2,590	ファクシミリサービス
		立替収入	0	
		一般財源	19,669,663	
	整備事業費	233,869,853	賃借料、共益費 139,188,152 旧図書館除却工事費 47,879,000	
	財源内訳	一般財源	233,869,853	
	計		267,088,742	
	財源内訳	雑入	330,440	
		立替収入	16,648	
		一般財源	266,741,654	

#### (参考) 川崎図書館費の推移

(単位：円)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	R1/H27
当初 予算額	維持運営費	29,473,000	29,784,000	29,579,000	18,628,000	18,395,000	62.4%
	図書館事業費	20,672,000	19,758,000	18,884,000	19,988,000	20,299,000	98.2%
	整備事業費	-	-	630,704,000	199,334,000	379,909,000	皆増
	計	50,145,000	49,542,000	679,167,000	237,950,000	418,603,000	834.8%
決算額	維持運営費	25,475,085	23,996,259	23,458,745	15,153,839	13,546,636	53.2%
	図書館事業費	21,307,256	20,690,055	18,526,160	19,500,022	19,672,253	92.3%
	整備事業費	-	-	465,852,694	187,390,105	233,869,853	皆増
	計	46,782,341	44,686,314	507,837,599	222,043,966	267,088,742	570.9%

## 7 令和元年度 事業の概況

令和元年度（平成 31 年度）は川崎図書館開館 60 周年を記念して記念講演会ほか 60 周年を冠した各種の事業を開催し、記念誌および冊子を刊行した。

3 月に入り新型コロナウイルスの流行に伴い、感染拡大防止の観点より 3 月 4 日から一部サービスを停止、来館者に対しては仮設カウンターでの予約資料の貸出・返却・登録の対応のみを行うこととなった（登録は 12 日から開始）。講演会、イベント等については、それ以前 2 月末より中止となったものもある。一部サービス停止期間は翌年度に入った 4 月 11 日まで続いた。（その後特措法に基づく緊急事態措置に係る県の実施方針を踏まえ、4 月 12 日より臨時休館。）

### （1） 資料収集・整備

#### ア 資料・情報の収集

##### （ア） 科学・産業技術関係図書、逐次刊行物（雑誌、年鑑・年報、論文集等）の収集

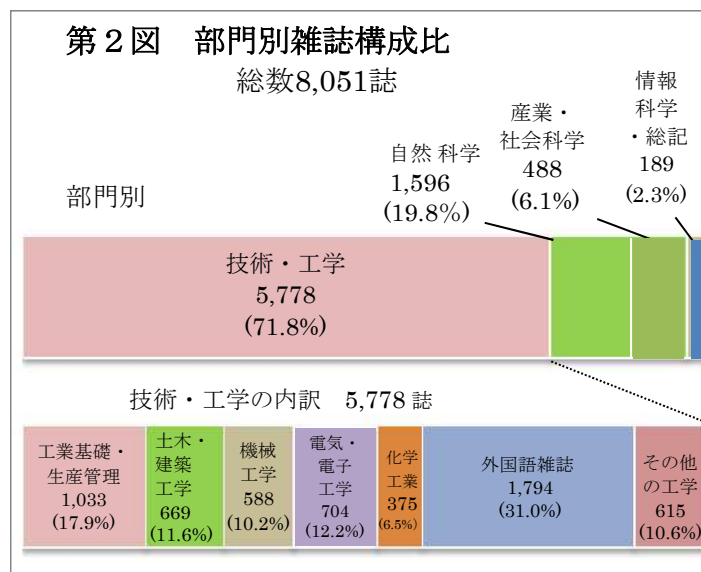
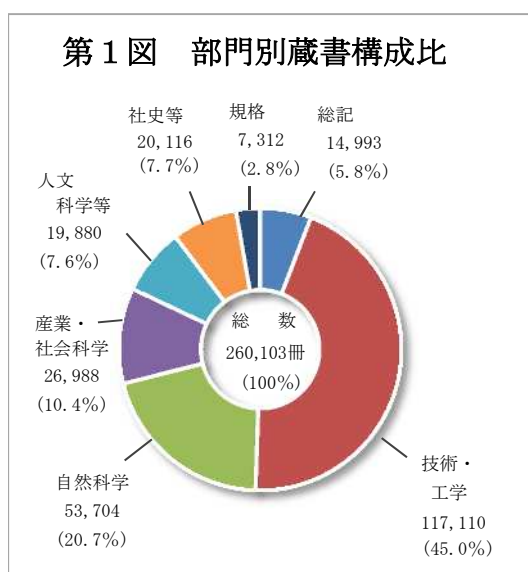
###### a 図書

令和 2 年 3 月末現在の蔵書冊数は 260,103 冊となっている。図書の部門別蔵書構成比は第 1 図のとおりである。受入れ冊数 1,978 冊（前年度 2,265 冊）のうち 57%が寄贈によるものとなった。

また、亡失図書や汚破損図書について、計 40 冊の除籍を行った。加えて、県立図書館と重複している等不用となった年鑑・年報をはじめ、不用図書 2,007 冊を除籍し、県立図書館へ 465 冊の管理換え等を行った。

また資料の精査の結果、図書の統計から除いた 19 冊を合わせて、払出し冊数は 2,531 冊（前年度 446 冊）となり、前年度に比べて 553 冊の減少となっている。

（p. 38 事業統計第 1 表 参照）



###### b 逐次刊行物類

雑誌類の令和 2 年 3 月末現在の所蔵タイトル数は 8,051 誌となっている。これは、購入あるいは寄贈の中止、休・廃刊、誌名変更等による非継続誌を含んでお

り、継続受入誌はこのうち1,463誌（前年度1,604誌）である。主に学・協会誌、大学研究報告書、官公庁・企業等の発行する科学・技術専門雑誌などを収集している。

外国語雑誌の所蔵タイトル数は内数として2,188誌で、その内訳は、購入2誌、野庭収蔵庫保管分（デポジット・ライブラリー）1,794誌、日本化学会等からの寄贈389誌等となっている。雑誌の部門別構成比は第2図のとおりである。なお年々電子化される雑誌が増えてきている（雑誌の外数としてカウント）。

短期の保存期間が満了した非継続寄贈雑誌（CSR 54誌等）に加え、県立図書館との重複雑誌（174タイトル）等、合わせて263タイトルを払い出した。

新聞は34紙で、そのうち継続受入紙は、購入が一般紙を含めた6紙、寄贈による収集は26紙となっている。（p.38 事業統計第2表、第3表のA 参照）

#### （イ） 特許関連資料、規格資料等の収集

特許関係の解説書・活用事例に関する図書等の収集を行った。

また、規格資料については「所蔵規格資料リスト」を図書館ホームページに掲載し、利用者への便宜を図っている。主な所蔵資料は次表のとおり。

主な規格資料の保有状況

区 分		保 有 状 況
外国規格	ASTM(米国材料試験協会規格)	2018年版 旧年版もあり
	DIN(ドイツ連邦規格)	1971年版～2012年版のハンドブックの一部（英訳版も一部所蔵）
国内規格	JIS(日本産業規格)	全分野(A～Z)所蔵 毎月差し替えを行っている。廃止JISは1996年以降所蔵。JISハンドブック、英訳JISハンドブックも所蔵(2016年刊行分が最新)
	JEC(電気学会規格)	大部分所蔵(廃止も一部所蔵)
	JEM(日本電気工業会規格)	追録あり 2020年更新分まで
	JASO(自動車技術会規格)	2017年版が最新

#### （ウ） 会社史、経済団体史等の収集

全国有数との評価を得ているコレクションであり、積極的に収集を行った。発行元ほか、社史を多く所蔵している各団体より寄贈いただき、寄贈冊数は530冊となった。購入による収集は6冊で、令和元年度の受け入れ数は536冊、所蔵総数は20,116冊となった。（p.38 事業統計第1表 参照）

#### （エ） 産業安全・労働衛生ビデオ・DVD等の収集

令和元年度は、産業安全・労働衛生ビデオ・DVDについては購入で3本を受け入れ、汚破損のため1本を除籍した。また個人貸出用ビデオテープ1,268本の除籍を行った。

令和2年3月末の所蔵総数は552本となっている。その内訳は、産業安全・労働衛生等の団体貸出用354本（ビデオテープ274本、DVD80本）、個人貸出用がビデオ・DVDを合わせて198本となっている。（p.38 事業統計第3表のイ 参照）



## イ 資料・情報の整備

### (ア) 資料の整理、点検、修理、製本

移転後初の資料総点検を6月に行った。KSP内に配架した図書（公開・書庫）のICタグによる点検、書庫内雑誌の移動、JISファイルのずらしこみなどの作業を実施した。

なお、令和2年度の資料総点検を4月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために3月に一部サービス停止期間があったため、この期間に令和2年度の蔵書点検を前倒しで実施した。KSP内配架図書のICタグによる点検のほか、公開雑誌のレイアウト変更、書庫内雑誌一部の点検等を行った。

相模原書庫については平成30年3月に図書を移設した際に、図書の所在データを基に照合と点検を行ったことから、同書庫に保管している図書については、当面、点検は行わない予定である。

### (イ) 資料データの整備

購入・寄贈等により新規に受け入れた資料の書誌・所蔵データを速やかに作成し、OPACおよびホームページ上に公開する所蔵目録により利用者に提供している。令和元年度は雑誌架最新号公開リストを新たに公開した。所蔵目録の更新は、「科学技術系外国語雑誌目録」は年2回、「産業安全・労働衛生ビデオ所蔵目録」は年1回、「所蔵規格資料類リスト」は逐次、行っている。

### (ウ) 神奈川県関係文献情報ファイルの作成・整備

県立図書館と分担して、神奈川県に関する文献（新聞記事及び図書・雑誌論文等）の主な情報を入力し、利用者に提供している。令和元年度は、神奈川県に関する文献587件（県内新聞記事45件、県内文献542件）の新規データ入力を行った。また、平成31年1月より開始した過去のデータの遡及修正（主に所蔵館の変更）については、令和元年度は県内新聞記事・県内文献合わせて3,922件の修正作業を行った。

## ウ 書庫・収蔵庫の運用

### (ア) KSP書庫及び相模原書庫の運用・管理

移転を機に、旧川崎図書館に所蔵していた資料はKSPと相模原書庫の2カ所に保管することとなった。このうちKSP書庫には、雑誌5,976タイトル、新聞、及び備品図書や書庫内社史等の図書約29,000冊を配架している。相模原書庫には約125,000冊の図書を箱保管している。

相模原書庫からの図書の配送は、原則として当日12時までに依頼されたものを16時までに提供する体制を組んでいる。令和元年度の利用冊数は、3,250冊であった。（p.40 事業統計第6表のイ 参照）

### (イ) 野庭収蔵庫（科学技術系外国語雑誌デポジット・ライブラリー）の運用・管理

県内企業資料室等との協力により、科学技術系外国語雑誌を保存・活用している。令和元年度は1社から、所蔵タイトルの継続分の寄贈を受けた。現在の所蔵タイトル数は1,794誌である。その他に、図書約41,000冊、和雑誌281誌がある。

宅配により本館への資料配送を行い、閲覧及び複写の利用に供する形をとって

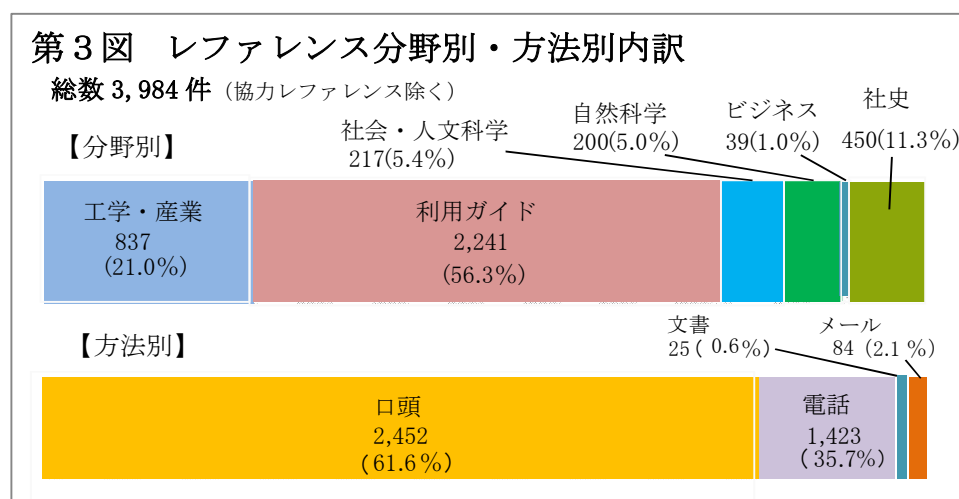
いる。平成30年9月からは、派遣職員が週2回（火・金曜）現地勤務する体制となっている。利用冊数は760冊（平成30年度863冊）、複写枚数は503枚（同978枚）だった。複写枚数のうち87.3%は外国語雑誌であった。（p.40 事業統計第6表のウ 参照）

## （2） 資料・情報の提供

### ア 基本的サービス

#### （ア） レファレンスサービス

令和元年度のレファレンス受付件数は4,054件（協力レファレンス70件を含む。）で、前年度比6.1%増となった。当館の特色である科学技術や特許、規格に関するレファレンス事例については、国立国会図書館のレファレンス協同データベースシステムに登録、広く公開した。レファレンスの分野別・方法別内訳は第3図のとおりである。（p.39 事業統計第5表 参照）



#### （イ） 閲覧、登録、貸出（視聴覚資料含む）、リクエストサービス

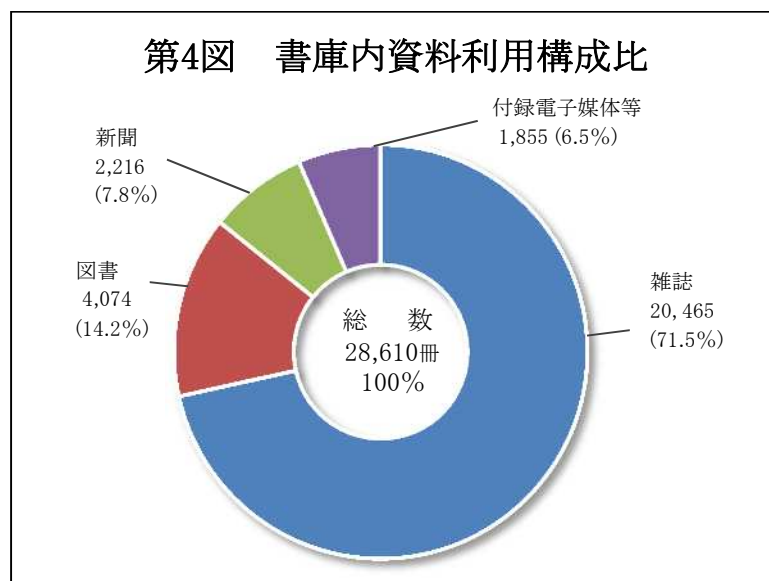
令和元年度の入館者数は83,244人（一日平均287人）で前年度比20.8%の増となった。（p.39 事業統計第4表 参照）

個人の新規登録者は1,093人で前年度比37.0%減と移転初年度よりは減少しているが、貸出は図書25,344冊で前年度比12.8%増、視聴覚資料の個人貸出は1,534点で前年度比1.3%増と利用が増えている。（p.42 事業統計第8表、第9表、p.45 第14表のア 参照）

会社・事業所などの研修等で利用される産業安全・労働衛生のビデオ・DVDについて、登録団体は124団体（うち新規登録者は57）、貸出は180件（ビデオ36点・DVD464点）で前年度比3.4%増、上映回数は965回で前年度比19.6%増、参加人数は18,383人で昨年度比6.1%増となっている。（p.45 事業統計第14表のイ 参照）

書庫内資料利用の総数は28,610冊で前年度比7.6%の減となった。書庫内資料利用の71.5%が雑誌である。書庫内資料の利用構成比は第4図のとおりである。（p.40 事業統計第6表 参照）

リクエストサービスは6,874件で前年度比30.4%の増となった。（p.42 事業統



**(ウ) 複写、在宅利用文献複写、宅配貸出サービス**

複写サービスの総計は申し込み 3,471 人、複写枚数 108,055 枚で前年度比人数は 0.8%増、枚数は 34.2%増となった。館内利用は増加したが、郵送等による在宅利用文献複写サービスは減となっている。(p. 43 事業統計第 11 表 参照)

宅配貸出サービスは、88 冊で前年度比 60.0%増加した。

**(エ) 電子ジャーナル・オンラインデータベースサービス**

電子ジャーナル・オンラインデータベース利用人数は 1,877 人で前年度比 28.5%増となった。

電子ジャーナルでは「IEEE Xplore 限定メニュー版」(米国電気電子学会)、国内学会誌、「Taylor & Francis 理工系コレクション 3 分野」の利用者数が前年度より増加した(利用者数合計 785 人、前年度比 53.3%増)。オンラインデータベースでは「Scopus」(エルゼビア社)、「CiNii」(国立情報学研究所)、「官報情報検索サービス」(国立印刷局)の利用者数が前年度より増加した(利用者数合計 597 人、前年度比 24.6%増)。他のオンラインデータベースの利用者数は前年度と比べて横ばいまたは減少であった。(p. 41 事業統計表第 7 表のア 参照)

また、利用状況の他の指標としての文献閲覧件数は、「IEEE Xplore 限定メニュー版」3,446 件で前年度比 134.7%増、「Scopus」1,633 件で前年度比 27.8%増、合計 5,079 件で前年度比 85.0%増であった。(p. 41 事業統計表第 7 表のイ 参照)

**(オ) Wi-Fi 利用サービス**

令和元年 6 月から Wi-Fi の運用を変更し、1 度メールアドレスを登録すると 1 年間は再登録なしで利用できるようにした。これにより、令和元年度の申込件数は 1,125 件と、平成 30 年度の 1,787 件より減少している。

**(カ) 障がい者サービス**

当館では、一般社団法人全日本難聴者・中途失聴者団体連合会より使用許諾を得て「耳マーク」を掲示し、カウンターには筆談用の器具とコミュニケーションボードを設置している。また、必要な方には拡大読書器を利用できるようにして

いる。

なお、図書館利用に障がいのある県民のために、図書の郵送貸出サービスを行っているが、令和元年度には利用申込がなかった。

## イ 特色あるサービス

### (ア) ものづくり情報の提供

ものづくり技術に関する最新の知見の資料等の整備・提供に努めた。さまざまな講演会・イベントの開催、ものづくりギャラリー等での展示を行った。

(p. 25 令和元年度 講座等実施状況 参照)

### (イ) 知財関係情報等の提供

知財関係情報等の提供の一環として、電子ジャーナル・データベース席の端末で、「J-PlatPat」(工業所有権情報・研修館)や米国特許商標庁、欧州特許庁のサイト、日本パテントデータサービス(株)が提供する特許情報データベース(JP-NET)による特許情報の提供を行った。

日本弁理士会関東会、KISTEC、神奈川県発明協会との共催により「図書館で学ぶ知的財産講座～知財セミナーinかわさき～」を1回開催し、23名が受講した。また、日本弁理士会関東会とKISTECと共催して「図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財－」(全4回)のうち第1回目を3月に開催する予定であったが、中止となった。また、KISTEC主催による「知財セミナー」を1回共催し、28名が受講した。関東経済産業局等主催による「戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー」を1回開催し、13名が受講した。また、川崎市の「かわさき知的財産スクール」(計4回)を後援した。

相談事業としては、「発明相談」は月2回、神奈川県発明協会の協力を得て、16件の相談があった。「創業・経営相談」は月2回、けいしん神奈川の協力を得て、7件の相談があった。平成30年度から開始した「知的財産相談」は月2回、日本弁理士会関東会の協力を得て、12件の相談があった。

さらに、日本弁理士会関東会と連携して「企業関係者と弁理士の知財研究会」を5月、7月、9月、11月、1月に開催した。

「産業関係団体からの推薦図書コーナー」では、川崎商工会議所・けいしん神奈川等の7団体から推薦された図書を購入し、展示した(2回)。推薦図書コーナー並びには、KSP・KISTECとの連携による棚を設け、KSPの刊行物やKISTECの教育講座等の紹介とともに関連図書の展示を行った。

(p. 25 令和元年度 講座等実施状況、p. 44 事業統計表第13表 参照)

### (ウ) 社史情報の提供

全国有数との評価を受けている社史コレクションを公開し、利用に供し、その活用を図った。

社史編纂担当者を対象として、社史編纂サポートセミナー(旧、社史ができるまで講演会)を4回開催した。一般利用者が会社の歴史に興味を持てるようなセミナーとして、「講演会・企業の足跡を知る」を3月に開催する予定であったが、中止となった。また、6年目となるイベントとして「社史フェア2019」を開催した。2018年に刊行された230点の社史を、カンファレンスルームに簡単な解説

を付けて平置きし、手にとって見てもらえるよう工夫し、4日間で226名の入場があった。(p.25 令和元年度 講座等実施状況 参照)

社史コレクションの活用のため、社史の使い方や社史情報などを紹介する「社楽」は5回刊行した。(p.21 (4)ウ 刊行物の発行 参照)

ホームページでは、特色のある社史を写真と簡単な文章で紹介する「すごい社史」で24件の社史を取りあげた。

#### (エ) ものづくり入門資料等の提供

子どもから大人まで利用できるものづくりと関連した入門的な資料を整備し提供した。ものづくりに関連のある漫画と合わせて2,165冊を提供している。

また平成31年3月より、簡便なビジネス書をブックトラックに集め、「昼読<ひるどく>コーナー」を設置した。

### (3) 連携・協力事業

#### ア 連携・協力

##### (ア) 図書館情報ネットワークの推進

県立図書館を通じた県内公共図書館への資料提供数は5,890冊であり、前年度に比べて4.4%増となった。内訳は県立図書館1,507冊、市町村立図書館1,647冊、横浜西口カウンターに2,736冊である。また県立図書館から2,754冊、県内市町村立図書館から407冊借り受け、利用者に提供した。

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業のなかで、川崎図書館の特色ある資料とサービスについて当館職員が担当し、研修を実施した。(p.45 事業統計第15表、p.42 事業統計第10表、p.22 (5)ア(オ) 職員の研究と発信 参照)

##### (イ) 都道府県立図書館等との相互利用の推進

県外の公共図書館に159冊を貸し出し、また16冊を借り受けた。科学技術・工学系の専門書や社史など当館の特色ある資料が全国で広く利用された。

(p.42 事業統計第10表、p.45 第15表 参照)

##### (ウ) 県立高校、県内大学図書館との連携、協力の推進

「県立の図書館と県立高等学校との連携・協力事業」を利用する県立高等学校への資料提供やレファレンスサービスに努め、貸出冊数は94冊と前年に比べ20.5%増となった。また、県立図書館が企画する高等学校図書館職員を対象とした研修事業でも、当館職員が講師となり、当館を会場に開催した。

県内大学図書館には県立図書館協力車により56冊貸し出し、前年度比36.6%増となった。(p.45 事業統計第15表 参照)

#### イ 関係団体等業務

##### (ア) 神奈川県資料室研究会の事務局運営、連絡調整

総会、理事会(6回)、月例会(10回)を開催した。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第6回の理事会は書面での開催とし、3月の例会は中止としている。

令和元年11月12日から11月14日に横浜で開催された「第21回図書館総合

展」には、ブース出展とフォーラム開催で参加した。刊行物は、「神資研ニュース」年9回、年報「神資研 第53号」を発行した。令和元年度末の会員数は、正会員79、賛助会員11、個人会員22、合計112会員であった。当館では、館長が会長を務め、理事1名(事業部長)、事務局を企画情報課が担当している。

(イ) 知財関係団体等との連携

県産業振興課が主催する「知的財産関係機関連絡調整会議」が1回、一般社団法人神奈川県発明協会が主催する「神奈川県知財総合支援窓口事業に係る中小企業等支援機関連絡会議」が1回開催され、知的所有権センター支部として参加し、関係機関との情報交換等を行った。

(4) 広報・普及活動

ア 広報活動

(ア) 展示等の実施

当館所蔵資料の紹介と利用の促進を目的として、ものづくりギャラリーで展示を3回開催した。(p.25 令和元年度 講座等実施状況 参照)

また、館外のPRについては、下記のように実施した。

a テクノトランスファーinかわさきへのブース出展

平成30年度に続き、令和元年度も「テクノトランスファー inかわさき 2019 -第32回先端技術見本市-」にブース出展した。会期は11月13日から11月15日、会場はカルッツかわさきであった。パネル・パンフレット・チラシ等で当館を紹介するとともに、電子ジャーナル・データベース等の説明をした。また、IEEEの代理店の担当者によるデモンストレーションを実施した。

b 川崎市立中原図書館の広報協力

川崎市立図書館との連携事業の一環として、川崎市立中原図書館内に2月28日から、当館のサービス、催事等のパンフレットやチラシ類を配布する「県立川崎図書館からのお知らせ」コーナーが設けられた。

(イ) 図書館実習生等の受入、見学者への対応

a 図書館実習

大学で図書館司書資格の取得を目指す学生を実習生として受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
慶應義塾大学	9月3日～14日	1名
相模女子大学	(10日間)	1名

b インターンシップ

県の事業として、インターンシップ生を受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
情報科学専門学校	7月30日～8月3日	1名
立教大学	(5日間)	1名

c 体験学習等

学校からの依頼を受け、体験学習等の生徒を受け入れた。

学 校 名	受 入 期 間	人 数
川崎市立御幸中学校	8月22日	2名
川崎市立東橋中学校	8月27日	2名
川崎市立渡田中学校	1月17日	3名
川崎市立川中島中学校	1月30日	2名

d 見学者の状況

令和元年度は合計で44件、320名の見学者を受け入れた。移転をした平成30年度(87件、532名)よりは減少しているものの、特長ある当館の資料やサービスについて関心を持つ幅広い見学者が訪れた。

(ウ) ホームページの運営

ホームページに展示や講演会のイベントの案内や報告、「ものづくりのための新着情報」、「司書の出番」、クリッピング等に情報を掲載し広報に努めた。令和元年度は「神奈川県立川崎図書館60年史」、「県立川崎図書館で出会う本」のPDF版や、当館の60年の歴史を振り返るスライドショー(動画)もホームページに掲載した。

イ 講座等開催事業 (p.25 令和元年度 講座等実施状況 参照)

(ア) 展示関連イベントの開催

ものづくりギャラリーでの展示のテーマに関連した講演会を2回開催した。なお、ものづくりギャラリー展示「「はやぶさ2」の技術」と関連した講演会は60周年記念講演会としても開催している。

(イ) ものづくりカフェの開催

科学者、技術者などの専門家と県民が気軽に語り合う「ものづくりカフェ」を開催した。

(ウ) 各種イベントの開催

a 60周年記念行事

4月から11月にかけて、「ものづくり情報ライブラリーで《出会う》」をテーマに、60周年記念として講演やイベントを開催した。JAXA等から借用した映像を上映した「宇宙シネマ in 川崎図書館」は、かわさきサイエンスチャレンジに登録し、496名の来場者があった。KSPホールを会場とした60周年記念講演会では清水幸夫氏に「「小惑星探査機はやぶさ2」とものづくり技術」と題しお話しいただいた。また、講演に先立って、東京理科大学名誉教授の藤嶋昭氏にゲストスピーチをしていただいた。

b 電子ジャーナル・データベース関連

前年度は月に1回開催していた電子ジャーナルミニレクチャーを月に2回程度に増やして開催し、電子ジャーナルやデータベースの周知や利活用に努めた。IEEEの担当者を講師に英語による利用説明会も行った。

また、高津市民館を会場とした高津区生涯学習推進会議「出前講座」でも電

子ジャーナル・データベースをテーマとした講座を行った。

利用促進のため、大学図書館や関係機関への広報や出前による利用説明会を行った。

c 実験教室の開催

社会人や学び直しに興味のある方を対象とした「大人の理科教室」を NPO ブルーアースの協力を得て 10 月に開催した。また、小学生と保護者を対象とした「子ども科学実験室」を、蔵前理科教室ふしぎ不思議（くらりか）の協力を得て 12 月に開催した。

## ウ 刊行物の発行

### (ア) 館報「ものづくり文化」の発行

平成 30 年度より誌名を「科学 EYES」から「ものづくり文化」に改めて年 1 回発行している。特集テーマを「ものづくりにおける水素エネルギーの可能性」として、内田裕久氏（東海大学特別栄誉教授、株式会社ケイエスピー代表取締役社長）に特集論文を執筆していただいたほか、ものづくりに関係する方々に寄稿していただいた。当館職員も取材や執筆を行った。

### (イ) 60 周年記念事業の刊行物

令和元年度は 60 周年記念事業の一環として「神奈川県立川崎図書館 60 年史」、  
「県立川崎図書館で出会う本～研究者、技術者、司書が選ぶ 60 冊」を発行した。

### (ウ) 定期刊行物

定期刊行物として、社史情報を紹介する広報紙「社楽」を 5 回発行した。

また、当館の事業等の報告をまとめた「令和元年度要覧」を発行した。

#### 刊行物一覧

名称	規格	ページ数	部数	発行年月
館報「ものづくり文化」 第 61 巻 「特集 ものづくりにおける水素エネルギーの可能性」	A4	17	1,000	R2. 3 月
神奈川県立川崎図書館 60 年史	A4	92	250	R1. 11 月
県立川崎図書館で出会う本～研究者、技術者、 司書が選ぶ 60 冊	A5	51	990	R1. 11 月
社楽(社史情報紙) Vol. 80 「社史の展示を頑張ってます！」 Vol. 81 「社史フェア 2019、コメント発表」 Vol. 82 「遊園地の乗り物をつくる会社」 Vol. 83 「空港の社史、点描」 Vol. 84 「1964 「聖火」の話」	A4	各 2 (Vol. 81 は 4)	各 250	R1. 6 月 R1. 9 月 R1. 10 月 R1. 12 月 R2. 1 月
令和元年度要覧	A4	45	40	R1. 8 月



## (5) 図書館運営の条件整備

### ア 運営状況の点検・評価

#### (ア) 図書館アドバイザーレクチャー制度の運営

館長が有識者からアドバイスを受けることを目的として、県立図書館が企画・実施している。うち1回は当館を会場として開催した。職員の研修としても活かされている。

開催日	アドバイザー	テーマ
2月27日(木) 14:00～16:00	荻原 幸子 氏 専修大学 経営学部教授	「地域社会との連携と協働（その1）」
3月30日(月) 14:00～16:00	青柳 英治 氏 明治大学 文学部教授	「神奈川県公立図書館における非正規雇用職員の能力開発とキャリア形成ー日図調査をもとにー」

※県立図書館との共催事業として実施。2月27日は当館、3月30日は県立図書館で開催した。3月30日のアドバイザーレクチャーは、3月12日に開催を予定していたが、日程を変更し、オンラインでの開催となった。

#### (イ) 活動評価の実施、公表

図書館活動について計画→実施→評価→見直しのサイクルを実現し、運営の持続的な改善を図ることを目的として、毎年目標数値を掲げ、活動評価を行っている。令和元年度については、社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分 10項目）および個別項目（5区分 16項目）について目標値を設定した。評価基準は、「達成（目標値 $\geq$ 100%）」「ほぼ達成（目標値 $\geq$ 80%）」「未達（目標値 $<$ 80%）」としている。結果は、「達成」が11項目、「ほぼ達成」が8項目、「未達」が7項目であった。（p.33 令和元年度 県立川崎図書館の活動評価 参照）

#### (ウ) 利用調査の実施

利用実態を把握し図書館運営の参考にするため、県立図書館と共同で10月15日（火）～10月21日（月）の6日間に利用者アンケートを実施した。アンケートの結果と分析についてはホームページで公開している。

#### (エ) 職員の研修

例年、館内整理日に職員向けの研修会「専門家に資料を学ぶ」を1回開催している。令和元年度は「コンピュータ・情報クラスタ」をテーマに、高橋征義氏（達人出版会代表取締役、日本Rubyの会代表）にレクチャーしていただいた（2月13日）。

その他、館内整理日に館員が担当分野に関する研修を実施したほか、神奈川県資料室研究会等が主催する研修会に参加して研鑽に努めた。

新採用職員に対する研修は、県立図書館と共同で計画的に行った。

#### (オ) 職員の研究と発信

県立図書館が企画する市町村図書館等職員を対象とした研修事業、県立の図書館と県立高等学校による連携・協力事業にかかる研修事業などで、当館職員が研修の講師等を務めた。

また、他の図書館関係団体等から依頼を受け、研修講師を務めた。

県立図書館主催

月 日	研修名	テーマ等	講 師
6月21日(金)	市町村図書館等職員 基礎研修（県立図書館）	「県立川崎図書館の機能と役割」	資料整備課 副主幹 沖田 香織
8月13日(火)	高校連携事業	「ネットを使った調べもの－ 科学技術系を中心に－」	企画情報課 主任司書 廣瀬 洋
12月17日(火)	市町村立図書館等職員専 門研修 図書館経営	「図書館による企業等への支 援事業」	企画情報課 副主幹 稲木 美由紀 主査 菅井 紀子 主任司書 廣瀬 洋

他団体主催

月 日	派遣先	テーマ等	講 師
6月28日(金)	全国公共図書館協議会（総会事例報告） 会場：東京都立中央図書館	「神奈川県立川 崎図書館におけ る社史コレクシ ョンの活用につ いて」	企画情報課 課長 高田 高史
10月1日(火)	日経BP 総研（周年事業セミナー） 会場：秋葉原コンベンションセンター	「周年事業のト レンド」	企画情報課 課長 高田 高史
2月20日(木)	企業史料協議会（会社史セミナー） 会場：当館	「社史に特化し たコレクション を持つ神奈川県 立川崎図書館に よる『社史を語 る』セミナー」	企画情報課 課長 高田 高史

主な執筆等

雑誌名・巻号・発行年月	テーマ等	執筆者
専門図書館 No. 297（2019.9）	再開館後の神奈川県立川崎図書館のサービス 展開	企画情報課 課長 高田 高史
神奈川県立図書館紀要第14号 （2020.2）	川崎市夢見ヶ崎動物公園とのコラボ催事	企画情報課 課長 高田 高史
全国公共図書館協議会2019年 度（令和元年度）公立図書館に おける蔵書構成・管理に関する 報告書（2020.3）	神奈川県立川崎図書館における外部書庫の活 用について	資料整備課 課長 小野 桂

## イ 施設の整備

### (ア) 施設の管理、維持修繕、備品整備

閲覧室内の無線 LAN について、セキュリティ向上のため、基盤構築及び回線整備等の環境整備を実施した。

### (イ) 環境マネジメントシステムの推進

環境問題への対応を進めるため、法令等を遵守するとともに、ガス・電気などの省エネルギーや焼却ゴミの削減等に取り組んだ。

## 8 令和元年度 講座等実施状況

### (1) 展示

#### ア ものづくりギャラリー展示

テーマ	内 容	開催期間
冊子から電子へ～ ジャーナルの今昔 ～	ジャーナル（学術雑誌）が冊子から電子になったこと でどのような変化があったのかを紹介した。大正時代 に発行された雑誌や、IEEE の雑誌のバックナンバーを 展示した。	4月2日(火) ～ 8月7日(水)
「はやぶさ2」の 技術～ものづくり 情報ライブラリー の資料から～	小惑星探査機「はやぶさ2」のミッション遂行のため に使用するエンジンやセンサー、カプセルなどには 様々な装置が使用されている。それらの装置がどのよ うな技術で作られているのかを紹介した。	8月9日(金) ～ 12月11日(水)
人づくりからはじ まるモノづくり part 2	県内でものづくり技術に係る人材を多く輩出している 3校（かなテクカレッジ東部、かなテクカレッジ西 部、産業技術短期大学校）について、授業で製作した 作品、関連する図書などを展示した。	12月13日(金) ～ 3月3日(火)

#### イ ものづくり入門コーナー・公開書架（低書架）での展示

テーマ	展示期間
藤嶋昭氏と光触媒	通年
レオナルド・ダヴィンチの資料	
川崎図書館の歩み（低書架）	
ノートルダム大聖堂	4月25日(木)～6月1日(土)
ひまわりに潜むフィボナッチ数列	9月14日(土)～10月9日(水)
ノーベル賞 2019	10月11日(金)～11月8日(金)
県立川崎図書館で出会う本（低書架）	11月15日(金)～1月8日(水)
KSP 30周年ー建築ー	11月18日(月)～1月10日(金)
環境に優しい新素材 LIMEX	2月22日(土)～ 令和2年度6月25日(木)

#### ウ 社史コーナー展示

テーマ	展示期間
すごい社史（西日本編）	4月19日(金)～8月7日(水)
すごい社史（東日本編）	8月9日(金)～9月4日(水)
すごい社史（セレクト）	9月5日(木)～11月13日(水)
遊園地	11月15日(金)～1月8日(水)
社史紅白	1月10日(金)～1月30日(木)
社史水族館	2月1日(土)～3月3日(火)

## エ 社史フェア

開催日時	テーマ等	人数
7月3日(水) 13:00~17:30	社史フェア 2019 2018 年刊行の社史、230 点の社史をコメント付きで 展示	64 名
7月4日(木) 10:30~17:30		63 名
7月5日(金) 10:30~17:30		70 名
7月6日(土) 10:30~17:00		29 名
計		226 名

## (2) 講演会等 (※「中止」は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による)

### ア 60周年記念行事(講演会・イベント)

開催日時	テーマ等	参加人数
4月20日(土) 14:00~16:00	(その1) 科学と先人の言葉 講師：藤嶋 昭 氏 (東京理科大学栄誉教授、光触媒国際研究センター長、東京大学特別栄誉教授、川崎市名誉市民)	44 名
5月28日(火) 17:30~19:00	(その2) 事例でわかる！電子ジャーナル講座 講師：小出 竜士 氏 (丸善雄松堂株式会社)	14 名
6月12日(水) 17:00~19:00	(その3) 知ろう！活かそう！AI 研究—AI における機械学習とものづくりへの展開— 講師：長尾 智晴 氏 (横浜国立大学大学院環境情報研究院教授、YNU 人工知能研究拠点 拠点長、(株) マシンインテリジェンス CTO) ※ものづくりカフェとして実施。	27 名
7月24日(水) 14:00~16:00	(その4) 車いすラグビーを支える技術 講師：三山 慧 氏 (車いすラグビー日本代表チームメカニック担当)	16 名
8月3日(土) 11:00~12:00 13:00~14:00 15:00~16:00	(その5) 宇宙シネマ in 川崎図書館 ※夏休みかながわ子どもワクワク体験、かわさきサイエンスチャレンジとしても実施。	496 名

11月21日(木) 14:00～16:30	県立川崎図書館開館60周年記念講演会 「小惑星探査機はやぶさ2」とものづくり技術 講師：清水 幸夫 氏（元 JAXA 宇宙科学研究所 安全・品質保証室長、工学博士） ゲストスピーチ：藤嶋 昭 氏（東京理科大学栄誉教授、光触媒国際研究センター長、東京大学特別栄誉教授、川崎市名誉市民） ※会場：KSP ホール	72名
計		669名

### イ ものづくりギャラリー展示関連講演会・イベント

開催日時	テーマ等	参加人数
5月28日(火) 17:30～19:00	事例でわかる！電子ジャーナル講座 ※60周年記念行事（その2）として実施	14名 ※（2）ア再掲
11月21日(木) 14:00～16:30	県立川崎図書館開館60周年記念講演会 「小惑星探査機はやぶさ2」とものづくり技術 講師：清水 幸夫 氏（元 JAXA 宇宙科学研究所 安全・品質保証室長、工学博士） ゲストスピーチ：藤嶋 昭 氏（東京理科大学栄誉教授、光触媒国際研究センター長、東京大学特別栄誉教授、川崎市名誉市民） ※会場：KSP ホール	72名 ※（2）ア再掲
2月26日(水) 15:00～16:30	職業技術校の工作教室 ～メイド・イン・ジャパンの技を体験しよう～ 講師：かなテクカレッジ西部 職員	中止
計		86名 ※（2）ア再掲

### ウ ものづくりカフェ

開催日時	テーマ等	参加人数
6月12日(水) 17:00～19:00	知ろう！活かそう！AI研究—AIにおける機械学習とものづくりへの展開— 講師：長尾 智晴 氏（横浜国立大学大学院環境情報研究院教授 YNU 人工知能研究拠点 拠点長、(株) マシンインテリジェンス CTO） ※60周年記念行事（その3）として実施。	27名 ※（2）ア再掲
3月18日(水) 14:00～16:00	はかるって何？～計量の基準と計量検定所の仕事 講師：猪飼 悠介 氏（神奈川県計量検定所）	中止
計		27名 ※（2）ア再掲

## エ 社史編纂サポートセミナー

開催日時	テーマ等	参加人数
5月14日(火) 14:30～16:30	『象印マホービン株式会社 100年の歩み 1918-2018』ができるまで 講師：樋川 潤 氏（象印マホービン株式会社 経営企画部 周年事業事務局長）	44名
7月26日(金) 14:30～16:00	『長谷工グループ 80年史』ができるまで 講師：池村 弘之 氏（株式会社長谷工コーポレーション 広報部 上席調査役）	36名
9月18日(水) 14:00～16:00	『日本精工 100年史』ができるまで 講師：河村 久 氏（日本精工株式会社 広報部アーカイブ室 審議役）、永島 雅美 氏（元日本精工株式会社社員・前広報部長）	36名
11月8日(金) 14:00～16:00	『“I” have a dream あなたの夢はなんですか?』ができるまで 講師：杉谷 佳美 氏（株式会社ヒューマックス 総務部 パブリシティグループ マネジャー）	42名
2月28日(金) 14:00～16:00	『東京書籍 110年のあゆみ』ができるまで 講師：小笠原 敏成 氏（東京書籍株式会社 取締役編集局次長）	中止
計		158名

## オ 講演会・企業の足跡を知る

開催日時	テーマ等	参加人数
3月21日(土) 14:00～16:00	鈴廣の歴史と受け継がれてきた伝統技術 講師：植木 暢彦 氏（株式会社鈴廣蒲鉾本店 魚肉たんぱく研究所所長）	中止

## カ 大人の理科教室

開催日時	テーマ等	参加人数
10月5日(土) 10:00～11:30	ブンブン独楽の力学を学ぶ～ベンハムのコマもあわせて～ 講師：持田 典秋 氏・猪股 勲 氏・瀧本 憲一 氏（NPO ブルーアース）	18名

## キ 子ども科学実験室

開催日時	テーマ等	参加人数
12月21日(土) 第1回 10:30~12:00 第2回 13:30~15:00	化学ペンでお絵描きしよう 講師：須藤 和冬 氏（蔵前理科教室ふしぎ 不思議（くらりか））	第1回 22名（15名） 第2回 24名（22名）
計		46名（37名）

（ ）は保護者で外数

## ク 電子ジャーナルミニレクチャー

開催日時	テーマ等	参加人数
5月22日(水) 17:00~17:30	Scopus	3名
6月17日(月) 17:00~17:30	IEEE	6名
6月28日(金) 17:00~17:30	Scopus	12名
7月9日(火) 17:00~17:30	電子ジャーナルの使い方	4名
7月25日(木) 17:00~17:30	文献検索	3名
8月14日(水) 17:00~17:30	研究テーマの探し方・電子ジャーナル	5名
8月29日(木) 17:00~17:30	研究テーマの探し方・データベース	5名
9月24日(火) 17:00~17:30	J-Stage	4名
9月25日(水) 17:00~17:30	日経テレコン	4名
10月21日(月) 17:00~17:30	2019年ノーベル賞受賞者	2名
11月27日(水) 17:00~17:30	IEEE	8名
12月18日(水) 17:00~17:30	2019年ノーベルレクチャー	4名
12月23日(月) 17:00~17:30	研究テーマの探し方	4名
1月16日(木) 17:00~17:30	PubMed	6名
1月31日(金) 17:00~17:30	欧米の科学技術文献	9名
2月18日(火) 17:00~17:30	arXiv	5名
2月20日(木) 17:00~17:30	Novel Coronavirus Information Center	7名
計		91名

## ケ 電子ジャーナル・データベース関連講座

開催日時	テーマ等	参加人数
5月28日(火) 17:30~19:00	事例でわかる！電子ジャーナル講座 講師：小出竜士 氏（丸善雄松堂株式会社） ※60周年記念行事（その2）・ものづくりギャラリー展示 関連講演会として実施。	14名
7月2日(火) 9:30~11:30	IEEE利用説明会 Holding of IEEE briefing session 講師：Alex Liu Yupeng 氏（IEEE Client Services Manager）	5名



9月3日(火) 18:30~20:30	高津区生涯学習推進会議「出前講座」 県立川崎図書館の検索ツールの紹介 講師：小出 竜士 氏（丸善雄松堂株式会社）、 井上 淳也 氏（エルゼビア・ジャパン株式会社） 会場：高津市民館	13名
計		32名

## コ 図書館ガイダンス・見学会

開催日時	テーマ等	参加人数
2月13日(木) 16:00~17:00 ※館内整理日に実施	KSP・KISTEC 特別見学会	2名

## サ 図書館で学ぶ知的財産講座～知財セミナーinかわさき～

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、神奈川県発明協会、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
2月14日(金) 14:00~16:00	OEMにおける知財活動 講師：佐々木 友 氏（富士工業株式会社 商品開発本部 研究開発部 技術情報課課長） 中小企業で知財をイカス 講師：岩崎 孝治 氏（英知国際特許事務所 所長弁理士、東北大学特任教授）	23名

## シ 図書館で学ぶ知的財産講座－弁理士と共に学ぶ初心者向け知財－

(共催：日本弁理士会関東会、KISTEC、当館)

開催日時	テーマ等	参加人数
3月14日(土) 14:00~15:00	【第1回】商標権と意匠権ってどんな権利？－井村屋のアイスクリーム「やわもち」で分析します－ 講師：穂坂 道子 氏（弁理士） ※令和2年度にかけて全4回の連続講座を予定。	中止

## ス 知財セミナー（主催：KISTEC 共催：当館、発明協会、株式会社ケイエスピー）

開催日時	テーマ等	参加人数
9月3日(火) 13:15~16:45	商標登録のための手続き実務～出願から登録まで～ 講師：青木 博通 氏（ユアサハラ法律特許事務所 パートナー・弁理士）	28名

セ 企業関係者と弁理士の知財研究会（日本弁理士会関東会との連携事業）

開催日時	テーマ等	参加人数
5月23日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「サポート要件」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 8名 ② 7名
7月25日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「実施可能要件」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 4名 ② 8名
9月26日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「明確性要件」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 7名 ② 6名
11月28日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「パラメータ発明・数値限定発明1」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 5名 ② 7名
1月23日(木) ①15:30～17:00 ②17:30～19:00	テーマ「パラメータ発明・数値限定発明2」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	① 6名 ② 5名
3月26日(木) ① 15:30～17:00 ② 17:30～19:00	テーマ「特許権の共有及び特許権の消尽」 司会・進行：保科 敏夫 氏（弁理士） 鈴木 一徳 氏（弁護士・弁理士）	中止
計		63名

ソ 戦略的知財マネジメント促進事業 知的財産セミナー（主催：関東経済産業局、神奈川県、KISTEC、当館）

開催日時	テーマ等	参加人数
12月5日(木) 13:30～16:30	事例に学ぶ知的財産の重要性～知財は知れば知るほど面白い～ 講師：富岡 康充 氏（有限会社オフィス富岡代表取締役社長）	13名

タ かわさき知的財産スクール（後援事業）

開催日時	テーマ等
6月13日(木) 14:00～16:00	「下町ロケット」にみる中小企業の特許戦略と事業競争力のリンク 講師：鮫島 正洋 氏（内田・鮫島法律事務所）
6月20日(木) 14:00～16:00	弁理士さん、発明って何でしょう？ 講師：荒井 滋人 氏（弁理士/かもめ特許事務所） 大谷 元 氏（弁理士/大谷元特許事務所）

<p>7月4日(木) 14:00~16:00</p>	<p>業務に必ず役立つ知的財産の基礎知識 講師：高橋 光一 氏（（公財）川崎市産業振興財団 知的財産コーディネータ）</p>
<p>7月11日(木) 14:00~16:00</p>	<p>IoT ベンチャーの知財戦略と実践 講師：佐藤 声喜 氏（株式会社 KMC 代表取締役社長・工学博士）</p>

※会場はいずれも川崎市産業振興会館

## 9 令和元年度 県立川崎図書館の活動評価

令和元年度の活動評価は、次のような結果となった。

※評価基準（達成度）は以下の通りである。（小数点以下第2位を切り捨て）

達成（目標値  $\geq$  100%） ○

ほぼ達成（目標値  $\geq$  80%） △

未達（目標値  $<$  80%） ×

なお、3月4日から一部サービスを停止。講演会、イベント等については2月末より中止となったものもある。

### ア 社会教育施設評価書の全館共通項目（5区分11項目 当館は10項目）

#### 【利用状況】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 利用者満足度	88%	97.5%	110.7%	○
《課題・対応の方向》 ・「県立川崎図書館に関するアンケート」（11/12～11/17）から算出した。「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人／回答者合計の人数比。 ・高い達成値となった。引き続き、利用者に満足いただける図書館サービスの提供に努める。				
② 入館者	90,000人	83,244人	92.4%	△
《課題・対応の方向》 ・新型コロナウイルスの影響により目標を達成できなかった。「新しい生活様式」における来館サービスの在り方を検討していく				
③ 教育・普及事業への参加者	1,400人	1,425人	101.7%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、「新しい生活様式」における魅力的な講座等の企画について検討していく。				
④ インターネットアクセス	4,100,000件	4,119,156件	100.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、魅力的なコンテンツを作成し、適宜更新していく。また、わかりやすく、使いやすいHPを目指していく。				

#### 【資料・収蔵品】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑤ 活用 (展示または各種メディア等で紹介した資料点数)	1,300点	975点	75.0%	×
《課題・対応の方向》 ・図書館の利用促進につながるような展示の企画、実施に努める。				

⑥ 維持管理	資料の棄損を防止する。	資料の棄損防止に努めた。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、職員・利用者による資料棄損の予防に取り組んでいく。				

【調査研究】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑦ 研究成果の公開 (発表・印刷物等)	40件	57件	142.5%	○
《課題・対応の方向》 ・60周年記念の事業で執筆機会が増えたことにより達成値が高くなった。「新しい生活様式」において、職員の研究活動や文献執筆や講師などによる発表の機会を確実に捉えるように努める。				

【情報発信】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 事業情報の発信 (定期刊行物やホームページ、SNSなどによる情報発信件数)	270件	260件	96.2%	△
《課題・対応の方向》 ・新型コロナウイルスの影響により目標を達成できなかった。「新しい生活様式」において、効果的な情報発信方法を模索しつつ、着実な情報発信に努める。				

【施設運営等】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑨ 観覧料及び事業等収入	図書館は対象外			
⑩ 施設点検 (だれもが等しく利用できる図書館を目指す。)	図書館利用に障がいのある人々へ配慮する。	図書館利用に障がいのある人々へ配慮した。		○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、図書館利用に障がいのある人々が少しでも利用しやすくなるよう、取り組んでいく。				
⑪ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数 個別項目⑩参照)	資料に関する知識、レファレンス能力、効果的な広報スキルなど専門的能力の向上	目標とする研修や講座の参加者延人数に達しなかった。		×
《課題・対応の方向》 ・60周年記念関係の事業へ注力や新型コロナウイルスの影響により、目標とする研修や講座の参加者延人数に達しなかった。今後は、積極的に、館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。				

## イ 個別項目（5区分16項目 ⑦は2項目）

### 【資料収集・整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
① 社史等の収集 (社史と逐次刊行物の新規寄贈数)	530件	541件	102.0%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、刊行情報に注意し、的確な寄贈依頼を行うなど、速やかな収集・提供に努める。				
② 破損等資料の修理件数 (修理件数/破損等件数)	90%以上	100% (780件/780件)	111.1%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、書き込み、切り取りや汚破損などの棄損発見に留意し、資料の的確な修理や保存に努める。				

### 【資料・情報の提供】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
③ レファレンスサービス (カウンターでの口頭、電話、メール・文書によるレファレンス件数 (県機関、県立学校等を含む。))	4,500件	4,054件	90.0%	△
《課題・対応の方向》 ・レファレンスサービスの周知を図り、利用促進に努める。				
④ 貸出数 (個人利用者への貸出冊数)	28,000件	26,878件	95.9%	△
《課題・対応の方向》 ・リクエスト等に的確に対応すると共に、貸出サービスの周知を図り、利用促進に努める。				
⑤ 書庫内資料出納数 (書庫の資料を提供した点数)	37,000点	28,610点	77.3%	×
《課題・対応の方向》 ・書庫内資料の周知を図り、所蔵資料のデータ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに提供できるよう努める。				
⑥ 複写枚数(コイン式コピー、電子ジャーナル等のプリントアウト、郵送複写等)	96,600枚	108,055枚	111.8%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、所蔵資料の周知を図り、データ整備を確実に進めると共に、所蔵調査等に的確に対応し、速やかに資料提供できるよう努める。				
⑦-1 電子ジャーナル等の利用件数 (利用申込み)	1,700件	1,877件	110.4%	○
⑦-2 電子ジャーナル等の利用件数 (IEEE、Scopus文献閲覧件数)	6,000件	5,079件	84.6%	△
《課題・対応の方向》 ・調査研究に役立つ電子ジャーナル・データベース等について、周知や多種多様な利用講座等を行				

う。出前による広報・講習会等も行うことにより、一層の利用促進に努める。

【連携・協力事業】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑧ 行政支援サービス (県機関、県試験研究機関や高校図書館等への資料提供冊数等)	460件	485件	105.4%	○
《課題・対応の方向》 ・引き続き、各行政機関、県試験研究機関に、図書や文献を提供するサービスに努める。				
⑨ 県内市町村図書館等への貸出冊数	6,400冊	6,163冊	96.2%	△
《課題・対応の方向》 ・県立図書館と協力したKL-NETによる相互貸借等の推進を図る。				
⑩ 県外図書館への貸出冊数	200冊	163冊	81.5%	△
《課題・対応の方向》 ・魅力的なものづくり技術に関する資料等の周知を図り、さらに収集・提供に努める。				

【広報・普及活動】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑪ メディア掲載件数 (新聞・雑誌・放送・ウェブサイト等の外部メディアに掲載された件数)	80件	53件	66.2%	×
《課題・対応の方向》 ・魅力的な催事等を企画・実施し、計画的な広報に努める。				
⑫ テーマによる資料展示回数	40回	36回	90.0%	△
《課題・対応の方向》 ・当館所蔵資料を活用した展示について、時宜に合うテーマに留意しつつ「ものづくりギャラリー」を中心に開催する。				
⑬ 視察・見学会等実施件数 (視察や見学会、職業体験、インターンシップを受け入れた件数)	80件	54件	67.5%	×
《課題・対応の方向》 ・視察・見学会、職業体験等の希望に着実に対応するよう努める。				
⑭ 各団体・機関への広報実施件数 (産業団体や外部機関等へ出向き、川崎図書館を広報した、あるいは該当団体・機関の持つ広報手段を活用した広報件数)	50件	31件	62.0%	×
《課題・対応の方向》 ・対象の団体等の範囲を拡大し、出前も含めた様々な手段による当館の周知や講座など、また、該当団体等の持つ広報手段を通じた広報を積極的に行うよう努める。				

【図書館運営の条件整備】

評価項目	目標値	達成値	達成率	評価
⑮ 自己研鑽及び他館の研究 (スキルアップに寄与する内部・外部の研修や講座の参加者延人数)	360人	276人	76.6%	×
<p>《課題・対応の方向》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館内研修を行い、専門的能力を着実に養成するとともに、館外研修や他図書館などの見学に参加し、知識やスキルの向上に努める。</li> </ul>				



# 事業統計

(令和元年度)

第1表 部門別蔵書冊数

区 分	元年度当初 冊数	受 入						払 出	差 引 増 減	元 年 度 末 冊 数	分 類 別 比 率 (%)
		購 入	寄 贈	管 理 換	編 入	そ の 他	小 計				
0 総 記	15,260	69	21	0	0	0	90	357	-267	14,993	5.8%
1 哲 学	299	1	8	0	0	0	9	0	9	308	0.1%
2 歴 史	5,742	10	6	0	0	1	17	80	-63	5,679	2.2%
3 社 会 学 科	14,129	31	35	0	0	0	66	1,501	-1,435	12,694	4.9%
4 自 然 学 科	53,592	177	76	0	0	1	254	142	112	53,704	20.7%
5 技 術 ・ 工 学	116,426	417	376	0	0	1	794	110	684	117,110	45.0%
6 産 業	14,413	26	47	0	0	0	73	192	-119	14,294	5.5%
7 芸 術 ・ 美 術	437	4	22	0	0	0	26	41	-15	422	0.2%
8 言 語	491	0	2	0	0	0	2	104	-102	389	0.1%
9 文 学	2,589	0	0	0	0	0	0	1	-1	2,588	1.0%
社 史 等	19,581	6	530	0	0	0	536	1	535	20,116	7.7%
規 格	7,200	106	6	0	0	0	112	0	112	7,312	2.8%
児 童 書	10,497	0	0	0	0	-1	-1	2	-3	10,494	4.0%
合 計	260,656	847	1,129	0	0	2	1,978	2,531	-553	260,103	100.0%
洋 書 (注1)	( 6,350 )	( 0 )	( 21 )	( 0 )	( 0 )	( 0 )	( 21 )	( 0 )	( 21 )	( 6,371 )	( 2.4% )
も の づ くり 入 門 (注1、注2)	( 2,104 )	( 41 )	( 49 )	( 0 )	( 0 )	( 1 )	( 91 )	( 30 )	( 61 )	( 2,165 )	( 0.8% )

(注1)洋書とものづくり入門は( )に内数で記入。

(注2)ものづくり入門コーナーの「払出」は書庫入れ数。

第2表 逐次刊行物保有状況

ア. 雑 誌

30年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	元年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集		
					購 入	寄 贈 (会 費 負 担)	寄 贈
8,303	11	263	-252	8,051	377	89	997
( 2,187 )	( 1 )	( 0 )	( 1 )	( 2,188 )	( 2 )	( 0 )	( 49 )

(注) 外国語雑誌は( )に内数で記入。

イ. 新 聞

30年度末タイトル数	受 入	払 出	増 減	元年度末タイトル数	う ち 継 続 収 集	
					購 入	寄 贈
37	0	3	-3	34	6	26

第3表 電子ジャーナル等資料の保有状況

ア. 電子ジャーナル・データベース

		契約数	内 訳
国 内	15	土木学会論文集、電子情報通信学会論文誌A,B,C,D、BIO INDUSTRY、情報処理学会論文誌、情報処理学会研究報告、日本金属学会講演概要集(講演論文集)、JdreamⅢ、JP-NET(Brand Mark Search含む)、CiNii、日経テレコン、官報情報検索サービス、国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	
海 外	3	IEEE(限定メニュー版、InnovationQ+含む)、Scopus(検索機能部分のみ)、Taylor & Francis(契約無料)	

イ. 視 聴 覚 資 料

区 分	30年度末数	受 入					払 出	元年度末数
		購 入	寄 贈	管 理 換	そ の 他	計		
個 人 貸 出 用	1,272	0	0	0	194	194	1,268	198
団 体 貸 出 用	315	3	0	0	37	40	1	354
合 計	1,587	3	0	0	231	234	1,269	552

ウ. C D - R O M

区 分	30年度末数	受 入	払 出	元年度末数
規 格 ・ 特 許 関 連	36	0	0	36
新 聞	1	0	0	1
科 学 技 術 文 献 速 報	12	0	0	12
計	49	0	0	49

第4表 開館日数・入館者数

区 分	31年元月4日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年元月	2月	3月	合計
開 館 日 数	25	26	19	26	26	24	25	25	23	22	24	25	290
入 館 者 数	6,415	7,231	5,270	7,975	9,969	7,502	7,438	7,825	7,061	6,950	7,810	1,798	83,244
1 日 平 均	257	278	277	307	383	313	298	313	307	316	325	72	287
前 年 度 入 館 者 数	-	3,332	4,947	6,825	7,403	6,318	7,246	6,984	6,438	6,285	6,468	6,646	68,892
前 年 度 1 日 平 均	-	222	198	273	285	263	279	279	280	286	281	266	266

第5表 レファレンス件数

ア. 館内レファレンス

区 分	月 別	31年元月4日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年元月	2月	3月	合計	比率(%)
質 問 件 数		299	344	353	464	388	397	389	328	284	257	272	209	3,984	100%
1 日 平 均		12.0	13.2	18.6	17.8	14.9	16.5	15.6	13.1	12.3	11.7	11.3	8.4	13.7	-
内 野 別	自 然 科 学	43	13	14	27	6	15	27	18	6	9	13	9	200	5.0%
	工 学 ・ 産 業	66	85	90	89	86	100	77	68	62	51	43	20	837	21.0%
	社 会 ・ 人 文 科 学	13	38	10	29	20	19	30	10	13	20	12	3	217	5.4%
	社 史	33	56	43	64	42	66	23	33	17	31	32	10	450	11.3%
	利 用 ガ イ ド	141	152	196	252	234	193	223	197	185	140	164	164	2,241	56.3%
	ビ ジ ネ ス	3	0	0	3	0	4	9	2	1	6	8	3	39	1.0%
訳 方 法 別	口 頭	192	245	220	331	244	256	249	209	176	153	162	15	2,452	61.6%
	電 話	101	94	122	125	135	123	130	117	101	101	99	175	1,423	35.7%
	文 書	0	0	0	1	3	2	2	0	1	0	3	13	25	0.6%
	メ ー ル	6	5	11	7	6	16	8	2	6	3	8	6	84	2.1%
前 年 度 件 数	-	372	535	336	356	249	388	343	282	306	262	333	3,762	-	
前 年 度 1 日 平 均	-	24.8	21.4	13.4	13.7	10.4	14.9	13.7	12.3	13.9	11.4	13.3	14.5	-	

イ. 協カレファレンス

区 分	月 別	31年元月4日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年元月	2月	3月	合計
質 問 件 数		6	6	6	6	6	6	8	3	2	9	6	6	70
前 年 度 件 数		-	4	5	15	5	4	4	4	4	7	4	4	60

ウ. レファレンス総数

区 分	月 別	31年元月4日	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年元月	2月	3月	合計
総 数		305	350	359	470	394	403	397	331	286	266	278	215	4,054
内 館 内 レファレンス		299	344	353	464	388	397	389	328	284	257	272	209	3,984
訳 協カレファレンス		6	6	6	6	6	6	8	3	2	9	6	6	70

## 第6表 書庫内資料の利用数

### ア. K S P 書庫

区 分	月 別	31	年	元	年	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合 計
		4	月	5	月	月	月	月	月	月	月	月	月	1	月	
総	数	2,359	1,879	1,804	2,126	2,137	2,027	2,234	2,271	3,216	2,154	1,804	589	24,600		
1	日 平 均	94.4	72.3	94.9	81.8	82.2	84.5	89.4	90.8	139.8	97.9	75.2	23.6	84.8		
内 訳	図 書	42	39	37	32	46	25	19	39	16	23	38	4	360		
	雑 誌	1,864	1,624	1,496	1,712	1,571	1,684	1,900	1,753	2,916	1,788	1,460	401	20,169		
	外 国 語 雑 誌 (注)	(9)	(55)	(35)	(10)	(20)	(25)	(167)	(20)	(27)	(28)	(13)	(3)	(412)		
	新 聞	361	104	130	200	324	204	137	277	94	157	111	117	2,216		
	付 録 電 子 媒 体 等	92	112	141	182	196	114	178	202	190	186	195	67	1,855		
前	年 度 総 数	-	2,032	1,765	2,717	2,096	1,558	2,691	4,130	2,933	2,050	1,256	3,589	26,817		

(注)外国語雑誌は( )に内数で記入

### イ. 相模原書庫

区 分	月 別	31	年	元	年	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合 計
		4	月	5	月	月	月	月	月	月	月	月	月	1	月	
取	寄 冊 数	264	290	261	322	292	272	292	329	218	251	230	229	3,250		
1	日 平 均	10.6	11.2	13.7	12.4	11.2	11.3	11.7	13.2	9.5	11.4	9.6	9.2	11.2		
前	年 度 総 数	-	262	358	254	314	235	352	287	249	304	333	324	3,272		

### ウ. 野庭収蔵庫

区 分	月 別	31	年	元	年	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合 計
		4	月	5	月	月	月	月	月	月	月	月	月	1	月	
取	寄 冊 数	46	86	44	117	53	53	82	64	49	61	52	53	760		
内 訳	外国語雑誌	14	12	15	50	9	5	49	11	21	18	11	6	221		
	和雑誌	0	19	0	20	3	0	8	21	0	2	2	0	75		
	図書	32	55	29	47	41	48	25	32	28	41	39	47	464		
複	写 枚 数	36	33	41	45	18	17	81	67	105	34	22	4	503		
内 訳	外国語雑誌	36	23	41	40	13	17	45	61	105	34	20	4	439		
	和雑誌	0	5	0	5	5	0	36	6	0	0	0	0	57		
	図書	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7		
前	取 寄 冊 数	-	54	147	65	87	56	78	54	70	87	70	95	863		
前	複 写 枚 数	-	77	159	70	181	56	29	42	49	109	121	85	978		

### エ. 総 数

区 分	月 別	31	年	元	年	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合 計
		4	月	5	月	月	月	月	月	月	月	月	月	1	月	
冊	数	2,669	2,255	2,109	2,565	2,482	2,352	2,608	2,664	3,483	2,466	2,086	871	28,610		

第7表 電子ジャーナル・データベースの利用数・文献閲覧件数

ア. 人数等

区分	月別	31	元	元	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合計	前年度末
		4	年	年	月	月	月	月	月	月	月	年	年	月		
IEEE	利用人数	68	23	37	36	35	36	23	35	18	19	16	2	348	239	
	複写枚数	293	81	210	66	164	124	104	192	161	100	57	0	1,552	1,328	
国内学会誌	利用人数	44	46	42	50	19	32	41	38	30	44	35	4	425	268	
	複写枚数	88	446	123	182	88	163	349	242	147	194	214	7	2,243	1,135	
Taylor & Francis	利用人数	0	3	0	4	1	0	2	0	0	1	1	0	12	5	
	複写枚数	0	15	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	78	0	
Scopus	利用人数	59	24	35	27	30	30	18	28	19	25	11	3	309	248	
	複写枚数	76	223	44	30	56	0	270	84	101	2	0	0	886	277	
JDreamIII	利用人数	12	12	17	17	12	11	15	8	5	10	10	1	130	156	
	複写枚数	196	159	320	191	135	147	134	75	67	153	198	12	1,787	2,118	
CiNii	利用人数	24	10	9	27	29	22	37	33	20	30	20	3	264	209	
	複写枚数	91	9	41	36	13	2	76	106	64	53	32	0	523	411	
JP-NET	利用人数	3	5	2	5	2	5	2	4	3	4	2	0	37	55	
	複写枚数	271	383	62	67	135	188	23	123	56	83	3	0	1,394	1,099	
Brand Mark Search	利用人数	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	4	21	
	複写枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25	
J-PlatPat	利用人数	0	2	4	1	3	5	5	6	3	2	4	0	35	61	
	複写枚数	0	0	146	50	10	44	141	48	0	15	22	0	476	562	
Innovation Q+	利用人数	4	3	2	2	2	3	1	2	3	1	1	1	25	33	
	複写枚数	20	0	54	3	3	7	15	4	186	0	0	0	292	221	
日経テレコン21	利用人数	4	8	6	6	6	6	4	4	3	5	6	0	58	72	
	複写枚数	42	505	73	4	8	0	13	60	14	2	718	0	1,439	382	
官報情報検索サービス	利用人数	1	1	0	6	3	2	1	2	6	1	1	0	24	22	
	複写枚数	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	0	9	92	
国会デジタル	利用人数	7	3	3	4	7	5	7	7	1	8	8	0	60	60	
	複写枚数	28	15	0	42	4	0	2	0	0	0	23	0	114	313	
その他	利用人数	5	6	0	3	9	10	18	16	17	32	28	2	146	12	
	複写枚数	10	121	0	13	10	16	11	131	62	168	111	0	653	173	
合計	利用人数	231	147	157	188	158	168	175	184	128	182	143	16	1,877	1,461	
	複写枚数	1,115	1,960	1,073	684	629	691	1,138	1,068	858	833	1,378	19	11,446	8,136	

イ. 文献閲覧件数 (IEEE、Scopus)

区分	月別	31	元	元	6	7	8	9	10	11	12	2	2	3	合計	前年度末
		4	年	年	月	月	月	月	月	月	月	年	年	月		
IEEE		370	69	240	383	678	353	287	418	328	188	111	21	3,446	1,468	
Scopus		246	315	86	151	197	98	103	115	236	52	21	13	1,633	1,278	
合計		616	384	326	534	875	451	390	533	564	240	132	34	5,079	2,746	

第8表 個人貸出登録者数

区分	30年度末	登録削除数	31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	合計	元年度末
登録者数	7,289	1,640	114	107	82	105	131	88	89	83	81	84	90	39	1,093	6,742

第9表 個人貸出冊数

月別区分	31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	合計	分類別比率(%)	前年度貸出冊数	
貸出冊数	2,013	2,158	2,016	2,373	2,623	2,216	1,963	2,237	1,988	2,071	2,290	1,396	25,344	100%	22,461	
1日平均	80.5	83.0	106.1	91.3	100.9	92.3	78.5	89.5	86.4	94.1	95.4	55.8	87.4	-	86.7	
内訳	一般図書	1,893	1,941	1,923	2,220	2,424	2,027	1,819	2,106	1,917	1,964	2,098	1,321	23,653	93.3%	20,679
	0 総記	200	219	227	247	251	253	214	218	210	204	248	138	2,629	10.4%	1,841
	1 哲学	25	27	26	32	24	38	34	37	31	35	53	22	384	1.5%	297
	2 歴史	35	57	47	42	45	43	32	51	51	35	44	46	528	2.1%	502
	3 社会科学	114	117	99	129	114	106	97	103	129	119	113	97	1,337	5.3%	938
	4 自然科学	502	569	631	647	740	573	516	536	564	529	608	396	6,811	26.9%	6,553
	5 技術・工学	844	781	713	880	1,005	822	742	931	731	806	827	446	9,528	37.6%	8,419
	6 産業	77	81	63	96	80	66	58	68	56	80	57	45	827	3.2%	795
	7 芸術・美術	56	47	66	96	102	71	59	95	83	92	105	73	945	3.7%	876
	8 言語	4	4	4	3	6	4	2	9	10	16	6	7	75	0.3%	35
9 文学	36	39	47	48	57	51	65	58	52	48	37	51	589	2.3%	423	
社史等	120	217	93	153	199	189	144	131	71	107	192	75	1,691	6.7%	1,782	
前年度貸出冊数	-	1,295	2,094	2,067	2,354	2,225	2,142	2,068	2,090	2,079	1,976	2,071	22,461	-	-	
前年度1日平均	-	86.3	83.8	82.7	90.5	92.7	82.4	82.7	90.9	94.5	85.9	82.8	86.7	-	-	

第10表 リクエストサービス

月別区分	31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	合計	比率(%)	
総数	463	585	596	631	596	557	516	563	568	502	554	743	6,874	100%	
分野別	自然科学	93	96	125	135	120	108	79	101	107	67	118	144	1,293	18.8%
	工学・産業	169	215	219	202	210	172	190	204	185	189	177	285	2,417	35.1%
	社会・人文科学	194	270	244	281	256	273	237	253	273	239	251	272	3,043	44.3%
	社史等	7	4	8	13	10	4	10	5	3	7	8	42	121	1.8%
処理別	返却待	194	245	304	304	306	239	216	269	244	213	240	412	3,186	46.4%
	購入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5	0.1%
	他館から借受	265	283	251	296	255	273	239	255	289	248	273	280	3,207	46.6%
	( 県立 )	(251)	(247)	(212)	(253)	(209)	(221)	(192)	(208)	(257)	(218)	(236)	(250)	(2,754)	( 40.1% )
	( 市町村 )	(10)	(32)	(36)	(38)	(42)	(47)	(39)	(46)	(25)	(29)	(33)	(30)	(407)	( 5.9% )
	( 県内機関その他 )	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(4)	(4)	(0)	(6)	(0)	(2)	(0)	(30)	( 0.4% )
	( 県外 )	(0)	(3)	(1)	(2)	(0)	(1)	(4)	(1)	(1)	(1)	(2)	(0)	(16)	( 0.2% )
取消等	4	57	41	31	35	45	61	39	35	41	41	46	476	6.9%	
前年度総数	-	288	396	474	482	560	572	459	522	530	524	466	5,273	-	

※ ( ) は内数

第11表 複写サービス

月別		31年	元年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年	2月	3月	合計	比率(%)	
区分		4月	5月								1月					
総	人数	305	357	284	347	352	275	299	312	280	303	271	86	3,471	100%	
	枚数	7,893	10,311	7,893	10,680	11,870	7,603	10,168	10,831	7,518	10,946	10,445	1,897	108,055	100%	
1日平均	人数	12.2	13.7	14.9	13.3	13.5	11.5	12.0	12.5	12.2	13.8	11.3	3.4	12.0	-	
	枚数	315.7	396.6	415.4	410.8	456.5	316.8	406.7	433.2	326.9	497.5	435.2	75.9	372.6	-	
内訳	コピー	人数	206	256	206	268	272	204	202	218	190	205	183	27	2,437	70.2%
		枚数	5943	7410	5905	9112	10375	6259	7896	9048	6106	9310	8275	1078	86,717	80.2%
	データベース等(注)	人数	62	53	37	44	40	34	48	58	48	58	50	5	537	15.5%
		枚数	1514	2455	1450	1198	939	1034	1611	1361	1049	1274	1807	67	15,759	14.6%
	国デジタル	人数	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	5	0	10	0.3%
		枚数	28	15	0	42	4	0	2	0	0	0	23	0	114	0.1%
	郵送	人数	35	47	39	33	39	35	48	36	41	40	33	54	480	13.8%
		枚数	401	431	529	322	552	297	659	422	361	362	340	752	5,428	5.0%
	ファクシミリ	人数	1	0	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	7	0.2%
		枚数	7	0	9	6	0	13	0	0	2	0	0	0	37	0.1%
前年度総数	人数	-	283	397	358	349	273	340	327	281	282	251	301	3,442	-	
	枚数	-	7,256	7,807	8,064	8,584	6,094	8,190	7,428	6,989	6,839	5,788	7,452	80,491	-	

(注) データベース等の数はオンライン、CD-ROM資料のプリンター出力による複写申込人数及び枚数

第12表 講習会・講座・講演会等

月別		31年	元年	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年	2月	3月	合計
区分		4月	5月								1月			
開催回数		1	4	5	9	3	6	2	4	4	3	3	0	44
参加人数		44	76	45	302	506	98	20	134	104	26	35	0	1,390
前年度	実施回数	-	1	6	4	5	4	4	6	6	4	4	6	50
	参加人数	-	22	99	234	290	56	102	117	135	60	87	115	1,317

※ 参加人数は保護者を含めた数字

### 第13表 知的財産関連相談件数

#### ア. 発明相談

区分	31年元			2年									合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	2	0	19
実施回数	2	1	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	10
利用者数	2	1	1	1	0	3	0	1	2	1	4	0	16	
相談件数	2	1	1	1	0	3	0	1	2	1	4	0	16	
内訳	特許・実用新案	2	1	1	1	0	3	0	1	2	1	4	0	16
	意匠・商標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類・調査・制度他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前年度開催数	-	0	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	19
前年度実施回数	-	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	7
前年度利用者数	-	0	0	1	2	2	1	1	2	1	0	0	10	
前年度相談件数	-	0	0	1	2	2	1	1	2	1	0	0	10	

※ 実施回数は開催回数のうち、実際に相談があった日数

#### イ. 創業・経営相談

創業・経営相談	31年元			2年									合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	0	21
実施回数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7	
利用者数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7	
相談件数	2	2	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	7	
前年度開催数	-	0	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
前年度実施回数	-	0	1	0	0	0	0	2	0	1	1	1	6	
前年度利用者数	-	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	1	7	
前年度相談件数	-	0	2	0	0	0	0	2	0	1	1	1	7	

#### ウ. 知的財産相談

知的財産相談	31年元			2年									合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
開催回数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	22
実施回数	1	2	1	0	1	0	0	0	2	2	1	0	10	
利用者数	1	2	1	0	1	0	0	0	3	3	1	0	12	
相談件数	1	2	1	0	1	0	0	0	3	3	1	0	12	
内訳	特許・実用新案	0	0	0	0	1	0	0	0	3	3	1	0	8
	意匠・商標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	分類・調査・制度他	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
前年度開催数	-	0	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	18	
前年度実施回数	-	0	1	2	2	0	1	1	0	0	1	0	8	
前年度利用者数	-	0	1	2	3	0	1	1	0	0	1	0	9	
前年度相談件数	-	0	1	2	3	0	1	1	0	0	1	0	9	



第14表 視聴覚資料の貸出状況

ア. 個人

区 分	31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	21年1月	2月	3月	合 計
科学技術ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県立図書館所蔵資料	185	184	122	109	130	162	102	117	102	75	111	135	1,534
計	185	184	122	109	130	162	102	117	102	75	111	135	1,534
前年度総数	-	33	45	162	124	163	186	142	139	151	141	228	1,514

イ. 団体

区 分	30年度末	期限切れ	31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	年度合計	元年度末
登録者	146	79	5	13	4	6	3	4	5	5	4	3	2	3	57	124

区 分	31年4月		元年5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		2年1月		2月		3月		合計		
	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数	点数	件数
ビデオ	8	0	12	0	24	4	27	5	14	5	12	0	17	7	16	3	18	6	13	4	12	2	7	0	180	36	
D V D	-	16	-	35	-	66	-	63	-	41	-	37	-	47	-	41	-	43	-	25	-	32	-	18	-	464	
上映回数	42		42		115		161		82		54		143		74		87		48		75		42		965		
参加人数	966		955		3,176		4,481		883		1,414		1,969		1,076		1,411		1,016		832		204		18,383		
前年度	ビデオ	-	-	0	4	12	9	18	0	10	6	9	2	3	1	56											
	D V D	-	15	20	32	8	14	19	39	25	40	20	7	38	386												
	上映回数	-		76		62		168		38		83		101		66		93		40		10		70		807	
参加人数	-		1,307		1,713		3,727		1,199		1,136		3,520		991		1,774		952		266		741		17,326		

第15表 他の図書館等への貸出状況

月 別		31年4月	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	合 計
区 分		580	545	495	613	593	566	614	572	494	472	502	399	6,445
機 関	公 共 図 書 館	291	272	243	316	275	266	323	270	231	237	246	343	3,313
	内 訳													
	県 立 図 書 館	128	121	117	139	118	111	129	117	94	85	100	248	1,507
	市 町 村 立 図 書 館 等	148	144	119	160	138	145	178	139	132	131	127	86	1,647
	県 外 の 図 書 館	15	7	7	17	19	10	16	14	5	21	19	9	159
	横 浜 西 口 カ ウ ン タ ー	262	236	227	264	285	281	254	230	246	214	203	34	2,736
別	企 業 ラ イ ブ ラ リ ー 等	15	19	11	18	20	7	3	38	10	13	49	14	217
	高 校 連 携	6	9	9	9	6	2	23	20	5	1	3	1	94
	大 学	4	5	4	6	4	5	9	6	2	4	1	6	56
	行 政 支 援	2	2	1	0	3	5	2	6	0	3	0	1	25
	N A C S I S - I L L	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4
	前 年 度 貸 出 冊 数	-	567	605	552	640	473	624	570	473	574	465	570	6,113

第 16 表 年度別蔵書冊数

	蔵書冊数	増減
昭和 33 年度	16,075	—
34	28,090	12,015
35	36,789	8,699
36	44,682	7,893
37	53,486	8,804
38	63,876	10,390
39	71,711	7,835
40	79,701	7,990
41	89,317	9,616
42	99,497	10,180
43	109,870	10,373
44	120,816	10,946
45	137,375	16,559
46	152,181	14,806
47	166,087	13,906
48	182,152	16,065
49	199,488	17,336
50	209,336	9,848
51	218,928	9,592
52	229,077	10,149
53	238,809	9,732
54	235,621	△ 3,188
55	232,394	△ 3,227
56	233,064	670
57	226,921	△ 6,143
58	228,885	1,964
59	228,108	△ 777
60	221,650	△ 6,458
61	220,327	△ 1,323
62	217,371	△ 2,956
63	215,189	△ 2,182
平成 元 年度	218,584	3,395
2	223,071	4,487
3	234,166	11,095
4	244,658	10,492
5	251,381	6,723
6	256,398	5,017
7	250,362	△ 6,036
8	242,713	△ 7,649
9	190,111	△ 52,602
10	191,949	1,838
11	195,731	3,782
12	201,259	5,528
13	206,840	5,581
14	211,853	5,013
15	217,546	5,693
16	223,151	5,605
17	224,615	1,464
18	231,386	6,771
19	233,312	1,926
20	236,900	3,588
21	241,823	4,923
22	245,994	4,171
23	246,191	197
24	249,666	3,475
25	252,734	3,068
26	255,368	2,634
27	258,799	3,431
28	260,640	1,841
29	258,837	△ 1,803
30	260,656	1,819
令和 元 年度	260,103	△ 553

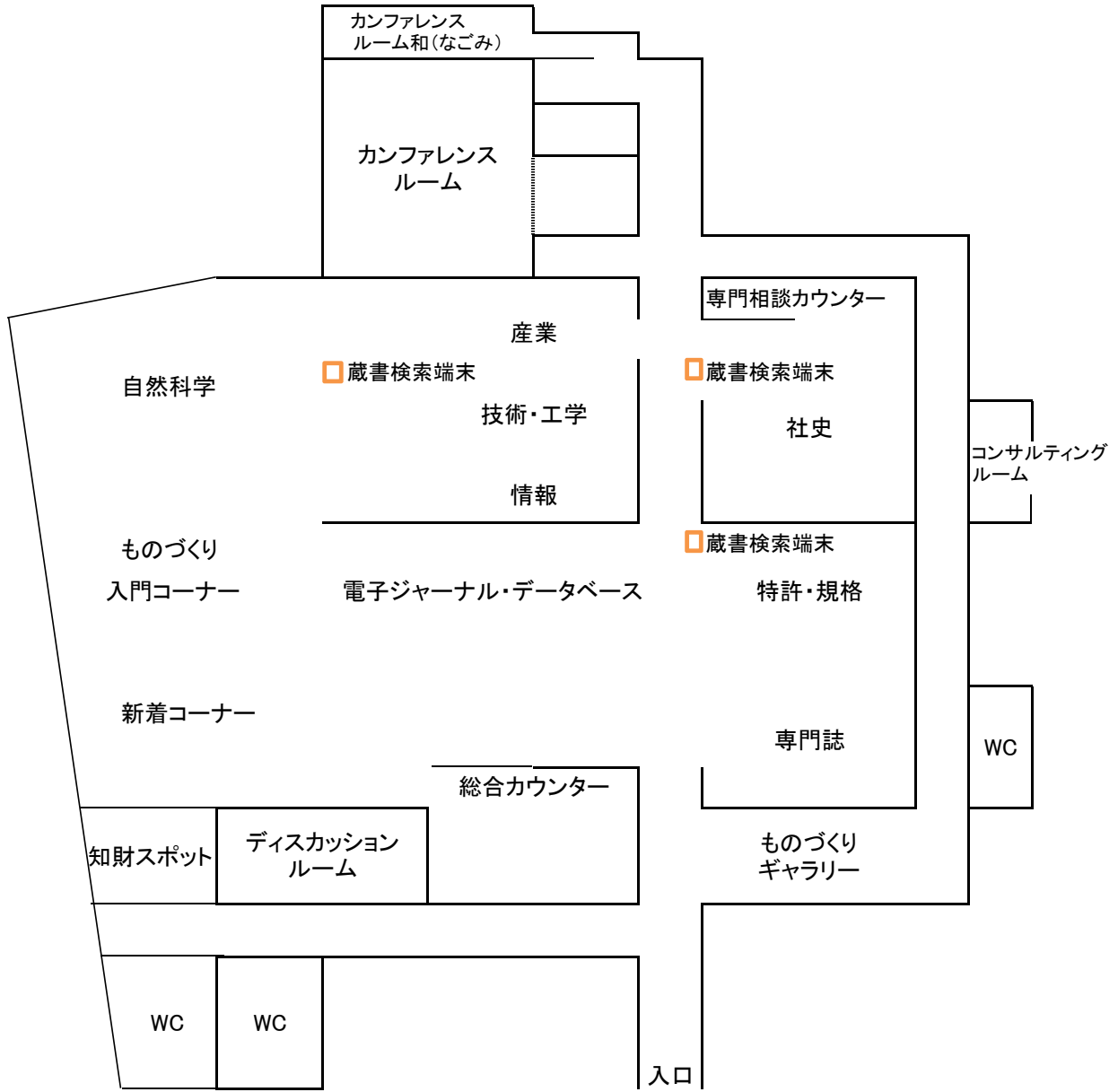
第 17 表 年度別入館者数・個人貸出冊数

	開館日数	入館者数	貸出冊数
昭和 33 年度	63	27,488	—
34	278	142,623	2,068
35	277	120,484	28,196
36	253	129,667	26,309
37	275	163,146	34,424
38	275	162,612	31,530
39	277	155,305	29,810
40	276	155,298	33,868
41	270	150,743	35,873
42	272	142,266	30,722
43	269	132,809	31,591
44	271	137,863	40,312
45	260	127,299	45,406
46	260	142,256	56,913
47	271	157,499	72,217
48	271	150,620	81,218
49	270	159,838	93,715
50	272	168,383	108,517
51	270	159,802	107,627
52	271	158,010	113,604
53	271	168,196	102,747
54	271	154,982	88,085
55	271	135,158	88,376
56	255	133,192	89,106
57	251	120,037	91,691
58	272	189,379	144,147
59	271	212,619	150,051
60	259 ( 134 )	139,462 ( 27,648 )	103,860 ( 36,670 )
61	284	206,834	134,555
62	273	184,991	130,342
63	270	170,319	125,356
平成 元 年度	260	208,760	125,144
2	269	220,182	131,067
3	271	226,191	143,782
4	271	245,524	152,221
5	269	251,552	144,381
6	269	255,704	134,407
7	270	222,138	85,679
8	268	203,885	72,182
9	202	146,654	41,063
10	270	143,044	26,077
11	258	138,204	24,459
12	280	136,643	32,621
13	282	142,925	33,040
14	282	147,532	35,432
15	284	140,533	34,589
16	284	133,195	29,974
17	284	184,493	30,331
18	289	206,364	37,178
19	290	192,762	40,594
20	296	212,930	43,926
21	296	229,150	47,794
22	291	215,929	47,324
23	294	205,122	48,646
24	296	195,413	47,838
25	297	184,050	46,631
26	296	162,915	41,244
27	293	154,234	36,921
28	294	148,886	34,694
29	198	88,010	16,795
30	259	68,892	22,461
令和 元 年度	290	83,244	25,344

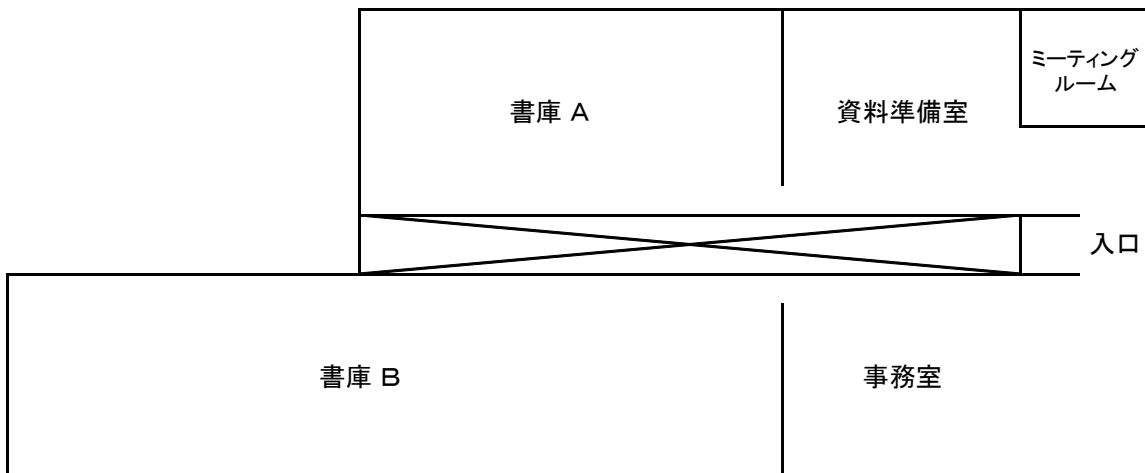
- ・昭和60年度仮設図書館における開館日数、貸出冊数は( )内に内数で記入。
- ・平成9年度は、リニューアルのため12月から一部休館。1月から全面休館。
- ・平成29年度は、KSPへの移転のため、10月から一部休館、12月から全面休館。
- ・平成30年度は、KSPIにおける開館準備のため5月中旬まで休館。
- ・令和元年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため3月4日から一部サービス休止。

# 館内案内図

## ○図書館(西棟2階)



## ○書庫・事務室(R&D棟2階)





電車 JR南武線「武蔵溝ノ口」駅 / 東急田園都市線・大井町線「溝の口」駅下車  
徒歩15分

バス ①KSPシャトルバス (平日: 午前10時以降、土祝休日: 始発から)  
溝ノ口駅 北口バスターミナル9番乗り場から「KSP行き」(直通) 約5分

②市営バス

溝ノ口駅前 北口バスターミナル7番乗り場から

溝04系統、溝06系統、溝15系統、溝18系統 いずれも「高津中学校入口」

下車徒歩1分

令和2年度

## 神奈川県立川崎図書館要覧

令和3年1月発行

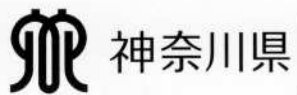
編集・発行 神奈川県立川崎図書館

館長 日比野 典明

川崎市高津区坂戸3丁目2番1号

電話 (044) 299 - 7825 (代表)

FAX (044) 322 - 8878



神奈川県立川崎図書館

川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP R&D 棟 C-225 〒213-0012 電話(044)299-7825(代表)